

令和4年度 富山市市民学習センター運営協議会資料

I 条例・施行規則

II 施設概要

III 令和4年度 事業報告

- 1 事業概要
- 2 年間事業
- 3 市民大学開設事業
- 4 生涯学習の啓発事業
- 5 市民大学受講者の構成
 - (1) 年齢構成
 - (2) 居住地域構成
- 6 市民大学受講者数等の推移

IV 令和4年度 富山市民大学に関する アンケート結果報告

V 令和5年度 事業計画案

- 1 スケジュール
- 2 令和5年度 富山市民大学の概要

I 富山市市民学習センター条例・施行規則

平成17年4月1日施行

＜条例抜粋＞

(運営協議会)

第14条 センターの運営に関し必要な事項を協議するため、富山市市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、生涯学習に関し優れた識見を有する者及び生涯学習関係団体等を代表する者のうちから委員会が委嘱する。

4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

＜施行規則抜粋＞

(協議会)

第6条 条例第14条に規定する富山市市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ、会長の指定した委員がその職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が召集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、センターにおいて処理する。

II 施設概要

◎ 富山市民学習センター

- (1) 所在地 富山市大手町6番 14 号
- (2) 施設 富山市民プラザ 3階・4階 1,454.57 m²(440.7 坪)
- (3) 設置 昭和 55 年4月 社会教育センター
平成 2 年4月 市民学習センターに名称変更
- (4) 開館日時 午前9時～午後5時(日曜・祝日・振替休日・年末年始は休館)
- (5) 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
3 階	子どものアトリエ	65.27 m ²	16 人
	ア ト リ エ	89.06 m ²	48 人
	アートライブラリー	102.64 m ²	24 人
	調 理 室	68.40 m ²	24 人
	事 務 室 等	360.39 m ²	20 人
	計	685.76 m ²	132 人
4 階	講 義 室 1	151.30 m ²	60 人
	講 義 室 2	83.70 m ²	25 人
	講 義 室 3	70.20 m ²	24 人
	サ ー ク ル 室 1	33.68 m ²	12 人
	サ ー ク ル 室 2	28.63 m ²	8 人
	サ ー ク ル 室 3	28.63 m ²	8 人
	サ ー ク ル 室 4	33.68 m ²	12 人
	サ ー ク ル 室 5	33.68 m ²	6 人
	控 え 室 ・ 倉 庫 等	199.84 m ²	5 人
	計	663.34 m ²	160 人
	地 下 倉 庫	105.47 m ²	

◎ 富山市民大学陶芸実習施設(花木)

- (1) 所在地 富山市花木 28
- (2) 面積 106.86 m²(32.4 坪)
- (3) 設置 平成 25 年3月
- (4) 開館日 富山市民大学陶芸コース開設日のみ
- (5) 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
1 階	学 習 ス ペ ー ス	64.03 m ²	10 人
	窯 室	16.51 m ²	
	ホ ー ル そ の 他	26.32 m ²	
	計	106.86 m ²	10 人

Ⅲ 令和4年度 事業報告

1 事業概要

区分	事業趣旨・内容等	R3年度実績
学習機 会の 拡 充	<p>市民の生涯学習を支援するため、系統のかつ継続的な学習機会を提供する。</p> <p>◇受講者数 1,545 人</p> <p>◇出席延べ人数 12,464 人 (552 回)</p> <p>◇コース数 53 コース</p> <p style="margin-left: 20px;">・一般 37 コース</p> <p style="margin-left: 20px;">・創作 9 コース</p> <p style="margin-left: 20px;">・プラネット 7 コース</p>	<p>1,507 人</p> <p>11,537 人 (574 回)</p> <p>全 56 コース</p> <p>37 コース</p> <p>9 コース</p> <p>10 コース</p>
	<p>市民の誰もが学ぶ意欲を育み、生きがいを見い出すことができるよう多様な学習機会を提供し、世代を超え生涯学習への認識を高める。</p> <p>◇特別講演会 年 4 回 (539 人)</p> <p>◇特別講義 年 5 回 (204 人)</p> <p>◇富山市民大学祭 3 日間 (1,397 人)</p> <p>◇わくわくキッズ教室 (夏・冬休み) 年 6 回 (49 組 104 人)</p> <p>◇学報、叢書の刊行 学報 1 冊、叢書 1 冊</p>	<p>年 4 回 (454 人)</p> <p>年 3 回 (209 人)</p> <p>3 日間 (1,314 人)</p> <p>7 回 (55 組 116 人)</p> <p>学報 1 冊、叢書 1 冊</p>
生涯学 習団 体等 支 援	<p>学習団体・サークル等に学習の場を提供し、市民の学習活動を支援する。</p> <p>◇各種学習団体・サークルへの支援</p> <p style="margin-left: 20px;">・市民学習センター (市民プラザ内) 27 サークル</p> <p>◇富山市民大学学友会への支援</p> <p style="margin-left: 20px;">・市民大学受講者の親睦と連携意識を育むとともに、自主的な活動による学習の支援を図る。</p>	<p>28 サークル</p>
生涯学 習情 報提 供・ 相 談	<p>学習活動を推進するため、学習内容・方法・プログラムの企画立案及び講師紹介等の相談業務を行う。</p> <p>学習相談時間 月～金曜日 9:00～17:00</p> <p>学習相談・情報提供件数 62 件 (1 月末現在)</p> <p>◇富山市ホームページによる情報提供</p> <p>◇富山県生涯学習情報提供 (とやま学遊ネットワーク)</p>	<p>179 件</p>

2 年間事業

月 ・ 日	事 項
令和4年	
4/5～4/8	富山市民大学受講手続き及び追加募集、学友会入会手続き
4/15	令和4年度富山市民大学開講式・特別講演会 「心に響く言葉を伝えよう～朗読とともに～」 紺野 美沙子 氏
4/20	富山市民大学コース スタート
8/2～8/10	夏休みわくわくキッズ教室（全5講座）
8/31	「叢書94号」発刊
11/3	山田地域文化祭特別講演会 「～笑いコミュニケーション～」 鍋田 恭子氏 ※文化祭は、山田公民館主催
11/17～11/19	第42回富山市民大学祭
(11/17)	公開講座 「食べて人生100年を生きよう」 新村 典子 氏
(11/19)	特別講演会「今日と同じ明日のために」 佐伯 克美 氏
12/6	富山市民大学 全コース終了
12/26	冬休みわくわくキッズ教室（1講座）
令和5年	
1/11～2/2	特別講義（5講義）
2/10	富山市民大学閉講式・特別講演会 「富山のコスモポリタン - 翁 久允の軌跡」 水野 真理子 氏
2/16	富山市市民学習センター運営協議会
3/4～3/7	令和5年度富山市民大学受講申込み受付
3/31	「学報2022」発刊

3 市民大学開設事業

(1)一般

	コース名	定員	受講者数	修了者数
101	富山の環境の未来を学ぶ	25	11	7
102	富山のまちのこれからを考える	25	17	10
103	立山黒部ジオパークを知る	60	49	35
104	郷土の歴史	60	62	44
105	道・未知・ミチの考古学	60	38	32
106	富山の民話	25	20	14
107	生活文化の歴史	25	17	12
108	日本の歴史	60	62	52
109	歴史史料をひもとく	25	24	19
110	古典歌謡への旅	25	19	12
111	おくのほそ道をたどる	25	25	22
112	漢詩漢文の世界へ	60	24	19
113	くらしを彩るとやまの詩歌	25	21	17
114	俳句入門	20	21	18
115	川柳を楽しむ	20	16	15
116	文学へのいざない	25	25	20
117	江戸時代の文学を読む	25	24	15
118	古文入門	25	14	12
119	落語のはなし	130	130	88
120	日本の歌、世界の歌	40	39	36
121	世界の歴史	60	59	45
122	中国史に学ぶ	60	59	51
123	世界の国々	60	62	47
124	生活医学薬学を学ぶ	60	36	28
125	楽しい脳トレーニング	60	46	33
126	健康生活の知恵	60	44	27
127	音楽サロン	60	46	25
128	リズム体操	30	35	27
129	100歳まで歩こう	30	35	20
130	豊かな心	130	95	79
131	美術の世界	30	35	29
132	暮らしの実学	60	43	27
133	楽しい法律	60	55	43
134	郷土の料理	12	12	12
135	家庭でできる『やくぜん料理』	12	12	12
136	季節の和菓子づくり	12	13	12
137	スイーツでO・M・O・T・E・N・A・S・H・I	12	12	12

(2)創作

	コース名	定員	受講者数	修了者数	
201	洋画	20	23	17	
202	日本画	20	24	21	
203	版画	20	13	12	
204	切り絵	20	7	6	
205	初めての篆刻	20	5	5	
206	陶芸	前期 A	8	8	8
207		前期 B	8	8	8
208		後期 A	8	8	8
209		後期 B	8	8	8

(3)プラネット

	コース名	定員	受講者数	修了者数
301	富山の郷土玩具”土人形”を作ろう	12	11	10
302	日本画(大沢野)	14	14	11
303	うまい水のルーツを探る	20	17	11
304	現代切り絵	8	5	5
305	手作り銀粘土アクセサリー(前期)	12	10	9
306	手作り銀粘土アクセサリー(後期)	12	12	11
307	飛越往来	15	15	9
53コース		1,818	1,545	1,187

実人数(受講者) 1,191人

※受講者数は、受講手続きを行った者の数とする。
 ※修了者数は、7割以上の出席があった者の数とする。

4 生涯学習の啓発事業

(1) 特別講演会

	日 程	演 題	講 師	会 場	参加人数
1	開 講 式 R4.4.15(木)	心に響く言葉を伝えよう ～朗読とともに～	俳優・朗読座主宰 紺野 美沙子	市 民 プ ラ ザ アンサンブルホール	238 人
2	プラネット R4.11.3(水)	笑いコミュニケーション	北日本放送パーソナリティ 鍋田 恭子	山田公民館	140 人
3	大 学 祭 R4.11.19(土)	今日と同じ明日のために	世界最高齢女性 クロスカントリースキーヤー 佐伯 克美	市 民 プ ラ ザ アンサンブルホール	85 人
4	閉 講 式 R5.2.10(金)	富山のコスモポリタン －翁久允の軌跡	富山大学学術研究部 教養教育学系 准教授 水野真理子	市 民 プ ラ ザ アンサンブルホール	76 人

(2) 特別講義

(会場: 富山市民学習センター)

回	日 程	講 義 題	講 師	参加人数
1	1月11日(水)	暮らしに図書館を ～便利な図書館活用術～	富山市立図書館 主任司書 工藤 崇人	36 人
2	1月16日(月)	化石から探る地球環境の変遷 ～恐竜時代、現在そして未来～	富山大学学術研究部 都市デザイン学系 教授 佐野 晋一	52 人
3	1月24日(火)	おわらの変遷	富山県民謡越中八尾おわら保存会 資料編纂部長 嘉藤 稔	33 人
4	1月27日(金)	古文入門 ～大江山の歌をきっかけに～	富山短期大学 非常勤講師 沢井 友義	30 人
5	2月2日(木)	影絵から広がる世界	影絵師 ジャック・ランダル	53 人

(3) 第42回富山市民大学祭 ※参加人数 1,397人

(会場: 富山市民プラザ)

日 程	内 容	発表コース・講演内容など
11月17日(木) ～ 11月19日(土)	学 習 発 表 (アトリウム) 作 品 展 (アートギャラリー)	一般・プラネット各コース学習発表及び学友会活動紹介のパネル展示 創 作 コース:洋画・日本画・版画・切り絵・初めての篆刻・陶芸 プラネットコース:富山の郷土玩具“土人形”を作ろう・日本画(大沢野)・ 現代切り絵・手作り銀粘土アクセサリー
11月17日(木) 午後	公 開 講 座 (アンサンブルホール)	「食べて人生100年を生きよう」 講師:新村 典子(管理栄養士 市民大学「健康生活の知恵」 「郷土の料理」「家庭でできる『やくぜん料理』講師」
11月18日(金) 午後	ス テ ー ジ 発 表 (アンサンブルホール)	富山の民話・リズム体操
11月19日(土) 午前	特 別 講 演 会 (アンサンブルホール)	「今日と同じ明日のために」 講師:佐伯 克美(世界最高齢女性クロスカントリースキーヤー)

(4) わくわくキッズ教室

小学校1年生から3年生までを対象に、親子のコミュニケーションを図りながら、身近にある材料で造形活動を楽しむ講座
(会場:富山市民学習センター)

	日 程	コース・教室名		指 導 講 師	受講者数
夏 休 み	8月2日(火)	A	折り紙 夏のリース	日本折紙協会講師 中川 靖子	10組 20人
	8月4日(木)	B	風流和菓子づくり	茶道講師 種谷美智子	7組 16人
	8月5日(金)	C			8組 16人
	8月9日(火)	D	トンカチ工作	「どんぐり工房」主宰 花岡 貞彦	9組 18人
	8月10日(水)	E	土人形の絵付け	土人形制作講師 古川 圭子	8組 17人
冬 休 み	12月27日(月)	A	たのしい七宝焼	「シニアライフ講座」七宝焼講師 岡部八穂子	7組 17人

(5) 富山市民大学叢書・学報の刊行

① 叢書

- ・「心に響く言葉を伝えよう ～朗読とともに～」

俳優・朗読座主宰 紺野 美沙子 令和4年8月発行

- ・叢書年間販売数 (令和5年2月2日現在) 81冊

※所蔵冊数 令和4年3月31日現在 918冊 (平成3年度～令和3年度発行)

令和4年度発行数 130冊

計 1,048冊

② 学報 「学報2022」

令和5年3月発行

5 市民大学受講者の構成

(1) 年齢構成

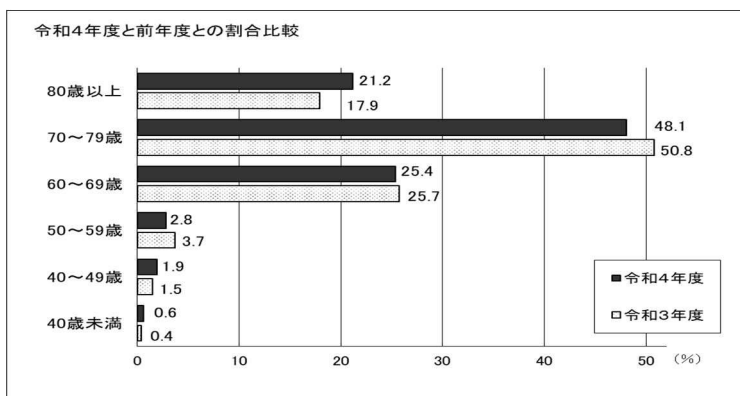
①コース別一覧

コース名		年齢層						合計
		80歳以上	70～79歳	60～69歳	50～59歳	40～49歳	40歳未満	
一 般	富山の環境の未来を学ぶ	2	5	4	0	0	0	11
	富山のまちのこれからを考える	2	10	3	2	0	0	17
	立山黒部ジオパークを知る	10	22	16	1	0	0	49
	郷土の歴史	17	30	15	0	0	0	62
	道・未知・ミチの考古学	14	17	7	0	0	0	38
	富山の民話	6	7	7	0	0	0	20
	生活文化の歴史	2	6	7	2	0	0	17
	日本の歴史	12	41	8	1	0	0	62
	歴史史料をひもとく	7	8	9	0	0	0	24
	古典歌謡への旅	8	8	3	0	0	0	19
	おくのほそ道をたどる	7	10	8	0	0	0	25
	漢詩漢文の世界へ	7	13	4	0	0	0	24
	くらしを彩る短歌の楽しみ	3	10	7	0	1	0	21
	俳句入門	4	11	6	0	0	0	21
	川柳を楽しむ	2	8	6	0	0	0	16
	文学へのいざない	10	12	2	1	0	0	25
	江戸時代の文学を読む	4	15	5	0	0	0	24
	古文入門	2	6	6	0	0	0	14
	落語のはなし	24	73	30	2	1	0	130
	日本の歌、世界の歌	13	18	7	0	1	0	39
	世界の歴史	12	28	13	3	3	0	59
	中国史に学ぶ	10	38	11	0	0	0	59
	世界の国々	15	33	14	0	0	0	62
	生活医学薬学を学ぶ	10	13	9	4	0	0	36
	楽しい脳トレーニング	13	26	7	0	0	0	46
	健康生活の知恵	13	24	7	0	0	0	44
	音楽サロン	16	17	10	1	2	0	46
	リズム体操	2	13	19	1	0	0	35
	100歳まで歩こう	15	14	5	1	0	0	35
	豊かな心	20	49	25	0	1	0	95
	美術の世界	7	20	6	1	0	1	35
	暮らしの実学	8	25	10	0	0	0	43
	楽しい法律	9	27	14	4	1	0	55
郷土の料理	0	1	7	2	2	0	12	
家庭でできる『やくぜん料理』	1	4	5	1	1	0	12	
季節の和菓子づくり	1	2	5	2	2	1	13	
スイーツでO・MO・TE・NA・SHI	0	2	4	3	1	2	12	

コース名		年齢層						合計
		80歳以上	70～79歳	60～69歳	50～59歳	40～49歳	40歳未満	
創作	洋画	5	12	4	1	0	1	23
	日本画	1	13	9	0	1	0	24
	版画	3	8	1	1	0	0	13
	切り絵	3	0	4	0	0	0	7
	初めての篆刻	0	2	3	0	0	0	5
	陶芸A(前期)	0	2	4	0	2	0	8
	陶芸B(前期)	0	2	2	3	0	1	8
	陶芸A(後期)	0	1	3	1	2	1	8
	陶芸B(後期)	0	0	5	0	2	1	8
	富山の郷土玩具“土人形”を作ろう	0	3	6	0	1	1	11
プラットフォーム	日本画(大沢野)	1	9	4	0	0	0	14
	うまい水のルーツを探る	0	10	5	0	1	1	17
	現代切り絵	0	2	1	2	0	0	5
	手作り銀粘土アクセサリ(前期)	0	2	5	1	2	0	10
	手作り銀粘土アクセサリ(後期)	0	2	5	3	2	0	12
	飛越往来	6	9	0	0	0	0	15
計		327	743	392	44	29	10	1,545

②構成比

	令和4年度		令和3年度	
	延人数	比率%	延人数	比率%
80歳以上	327	21.2	269	17.9
70～79歳	743	48.1	766	50.8
60～69歳	392	25.4	388	25.7
50～59歳	44	2.8	56	3.7
40歳～49歳	29	1.9	22	1.5
40歳未満	10	0.6	6	0.4
合計	1,545	100.0	1,507	100.0
平均年齢	72.6歳		72.3歳	



(2) 居住地域構成

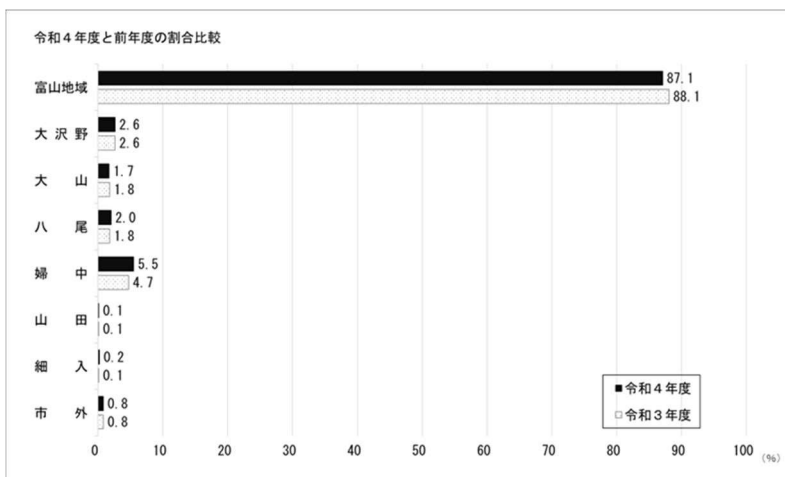
① コース別一覧

コース名		住居地域								
		富山地域	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	市外	合計
一 般	富山の環境の未来を学ぶ	9	0	0	0	2	0	0	0	11
	富山のまちのこれからを考える	14	0	0	1	2	0	0	0	17
	立山黒部ジオパークを知る	41	2	1	0	4	0	0	1	49
	郷土の歴史	55	0	2	2	2	0	0	1	62
	道・未知・ミチの考古学	35	0	0	1	2	0	0	0	38
	富山の民話	18	0	0	0	0	0	0	2	20
	生活文化の歴史	15	0	0	1	0	0	0	1	17
	日本の歴史	50	1	1	5	3	0	0	2	62
	歴史史料をひもとく	20	2	1	0	1	0	0	0	24
	古典歌謡への旅	15	1	1	0	1	0	0	1	19
	おくのほそ道をたどる	23	0	0	0	2	0	0	0	25
	漢詩漢文の世界へ	22	0	0	0	2	0	0	0	24
	くらしを彩る短歌の楽しみ	18	1	0	1	1	0	0	0	21
	俳句入門	20	0	0	1	0	0	0	0	21
	川柳を楽しむ	15	0	1	0	0	0	0	0	16
	文学へのいざない	20	2	0	2	1	0	0	0	25
	江戸時代の文学を読む	21	1	0	0	2	0	0	0	24
	古文入門	12	0	0	0	2	0	0	0	14
	落語のはなし	119	4	1	1	5	0	0	0	130
	日本の歌、世界の歌	34	0	2	0	2	0	1	0	39
	世界の歴史	55	0	0	0	4	0	0	0	59
	中国史に学ぶ	56	1	0	2	0	0	0	0	59
	世界の国々	58	0	0	0	4	0	0	0	62
	生活医学薬学を学ぶ	26	0	2	2	6	0	0	0	36
	楽しい脳トレーニング	44	0	0	0	2	0	0	0	46
	健康生活の知恵	40	1	0	1	2	0	0	0	44
	音楽サロン	41	0	0	1	3	0	1	0	46
	リズム体操	34	0	1	0	0	0	0	0	35
	100歳まで歩こう	33	0	0	1	1	0	0	0	35
	豊かな心	82	3	3	3	4	0	0	0	95
	美術の世界	31	0	1	0	3	0	0	0	35
	暮らしの実学	40	0	0	1	2	0	0	0	43
	楽しい法律	47	4	1	1	2	0	0	0	55
郷土の料理	10	1	0	0	1	0	0	0	12	
家庭のできる『やくぜん料理』	12	0	0	0	0	0	0	0	12	
季節の和菓子づくり	11	1	1	0	0	0	0	0	13	
スイーツで O・MO・TE・NA・SHI	9	1	0	0	1	0	0	1	12	

コース名		住居地域									合計
		富山地域	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	市外		
創作	洋画	23	0	0	0	0	0	0	0	23	
	日本画	23	0	0	0	1	0	0	0	24	
	版画	12	0	0	0	1	0	0	0	13	
	切り絵	6	0	0	0	0	0	0	1	7	
	初めての篆刻	5	0	0	0	0	0	0	0	5	
	陶芸A(前期)	8	0	0	0	0	0	0	0	8	
	陶芸B(前期)	7	0	0	0	1	0	0	0	8	
	陶芸A(後期)	5	1	0	0	2	0	0	0	8	
	陶芸B(後期)	6	0	0	0	2	0	0	0	8	
プロジェクト	富山の郷土玩具“土人形”を作ろう	7	2	0	0	2	0	0	0	11	
	日本画(大沢野)	10	2	0	1	1	0	0	0	14	
	うまい水のルーツを探る	7	1	8	0	0	0	0	1	17	
	現代切り絵	0	0	0	2	2	1	0	0	5	
	手作り銀粘土アクセサリー(前期)	7	1	0	0	2	0	0	0	10	
	手作り銀粘土アクセサリー(後期)	10	1	0	0	0	0	0	1	12	
	飛越往来	4	7	0	1	2	0	1	0	15	
計		1,345	41	27	31	85	1	3	12	1,545	

②構成比

	令和4年度		令和3年度	
	延人数	比率%	延人数	比率%
富山地域	1,345	87.1	1,327	88.1
大沢野	41	2.6	39	2.6
大山	27	1.7	27	1.8
八尾	31	2.0	27	1.8
婦中	85	5.5	71	4.7
山田	1	0.1	1	0.1
細入	3	0.2	2	0.1
市外	12	0.8	13	0.8
合計	1,545	100.0	1,507	100.0



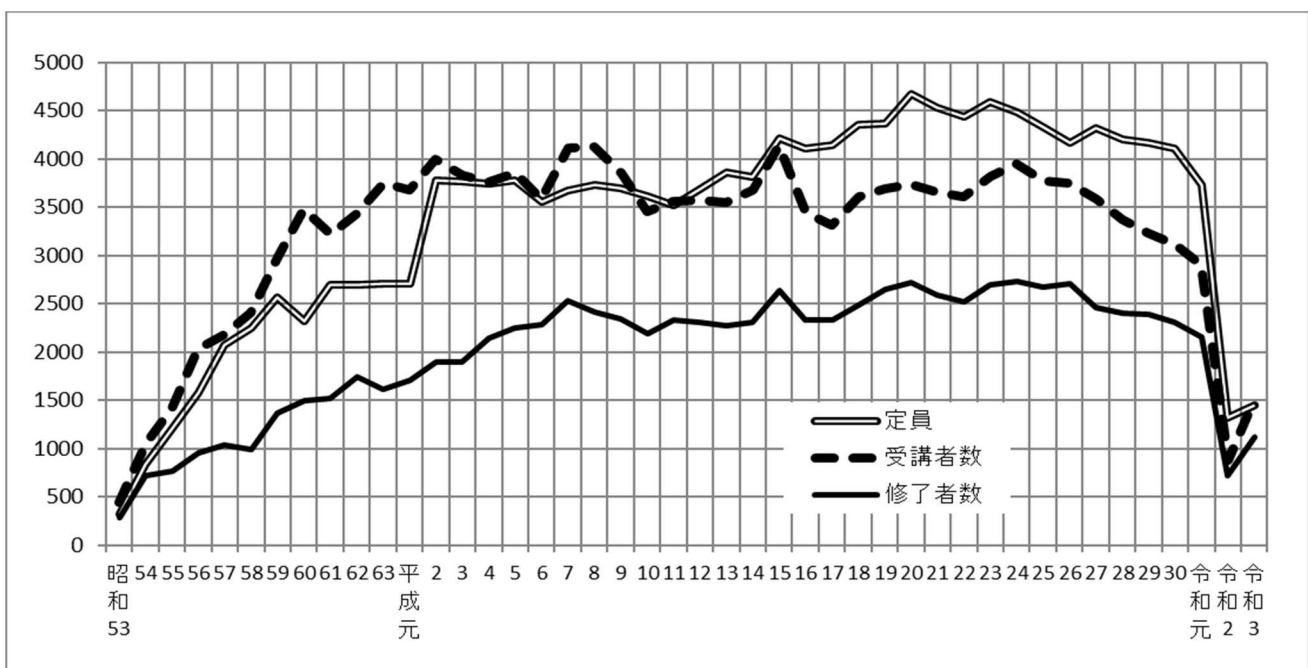
6 市民大学受講者数等の推移

(1) 年度別一覧

	昭和 53	59	60	61	平成 元	2	7	15	16	17	18	19	20	21	24
西 暦	1978	1984	1985	1986	1989	1990	1995	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2012
コ ー ス 数	8	38	37	48	45	56	52	56	57	57	63	70	79	80	79
定 員	320	2,570	2,320	2,695	2,705	3,780	3,676	4,216	4,111	4,139	4,354	4,367	4,667	4,532	4,482
受 講 者 数	444	2,987	3,473	3,222	3,683	3,996	4,118	4,131	3,441	3,312	3,607	3,688	3,740	3,653	3,950
修 了 者 数	291	1,369	1,493	1,525	1,711	1,894	2,532	2,640	2,326	2,326	2,480	2,648	2,723	2,589	2,727
備 考			ガラス工芸コース新設	コース数増設		市民プラザ完成 生涯学習都市宣言			受講料有料化	新市誕生	サテライトを新設		プラネットに改称		

年 度	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
西 暦	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コ ー ス 数	78	76	78	76	77	76	73	48	56	56
定 員	4,330	4,163	4,313	4,197	4,165	4,107	3,727	1,323	1,451	1,818
受 講 者 数	3,770	3,750	3,583	3,368	3,229	3,109	2,896	878	1,507	1,545
修 了 者 数	2,670	2,704	2,463	2,407	2,394	2,312	2,158	725	1,126	1,187
備 考	陶芸コース新設 受講料改定						とやま市民交流館でのコ ースを年度末で移転 ガラス工芸コースを年度末 で廃止	新型コロナウイルス感染 止のためコースと定員減 受講料改定	新型コロナウイルス感染 止のため八、九月休講 十月再開	

(2) 推移



IV 令和4年度富山市民大学に関するアンケート結果報告

1 調査の趣旨

令和4年度の市民大学受講者の実態及び意識を把握し、今後の市民大学運営に資する。

2 実施スケジュール

- ・実施期間 9月～11月（7月までのコースでは、7月に実施）
- ・調査結果入力 10月～12月
- ・調査結果集計・考察 1月～2月

3 調査方法

- ・コースが7～8割ほど終了した時点でアンケート実施。
- ・講義前にアンケート用紙を配布して協力を依頼し、休憩時や退室時に回収。
- ・アンケート用紙は両面とし、表面に受講コースに関する設問を、裏面に市民大学全般に関する設問を記載。複数コースの受講者は、表面は受講しているコース毎に、裏面は1回のみの記入。
- ・昨年の運営協議会でのご提案等を参考に、設問の見直しを行った。
（主な変更点：自由記述欄の増。開始時刻・交通手段・デジタル環境に関する設問の追加。通算受講年数の区分追加。）

4 回答者

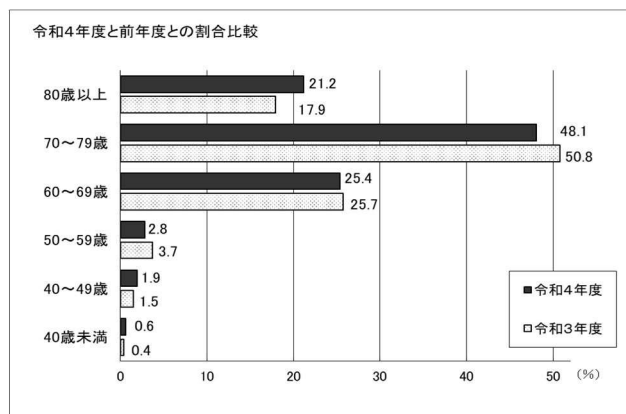
【表面】 1,022名/1,545名（延人数） 回答率 66.1% （昨年 64.6%）

【裏面】 890名/1,191名（実人数） 回答率 74.7% （昨年 69.8%）

5 令和4年度 富山市民大学受講者の属性

（1）年代

- ・受講者のうち、60歳以上が94.7%（昨年94.4%）を占め、平均年齢は72.6歳（昨年72.3歳）である。
- ・特に80歳以上の割合が、昨年17.9%から21.2%へ3.3%高くなっている。
- ・平均年齢は、5年前（2017年）70.5歳、10年前（2012年）67.8歳であり、徐々に高くなっている。



（2）居住地

- ・受講者の87.1%が「旧富山市内」の居住で、次に多いのが「婦中地域」5.5%である。市外（勤務地が富山市内）の受講者が、12名で0.8%となっている。この割合は、例年とほぼ変わらない。

<参考>

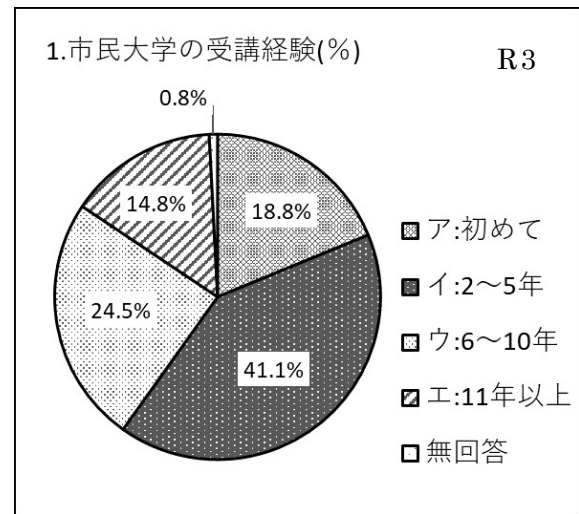
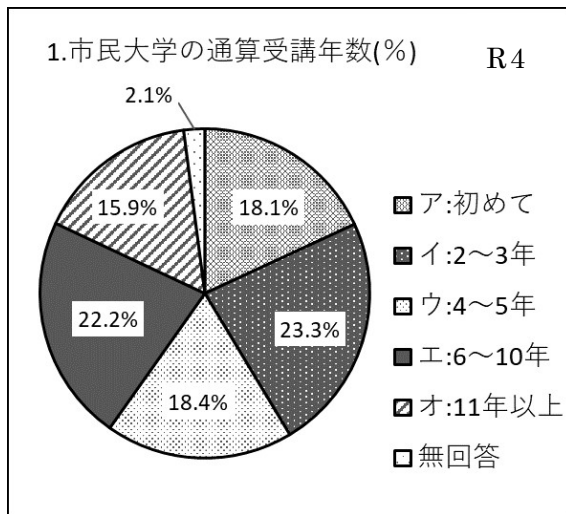
「高齢者雇用安定法」（2021年4月施行）により、65歳から70歳までの労働者の就業機会確保、70歳までの定年引上げ等の措置を講ずる努力義務が新設された。これにより、今後ますます市民大学の受講者の年齢層は上がり、高齢化すると予想される。

6 アンケート結果と考察

参考：() は昨年度の数値

(1) 受講経験等について【設問1～3】

「1. 市民大学の通算受講年数」について

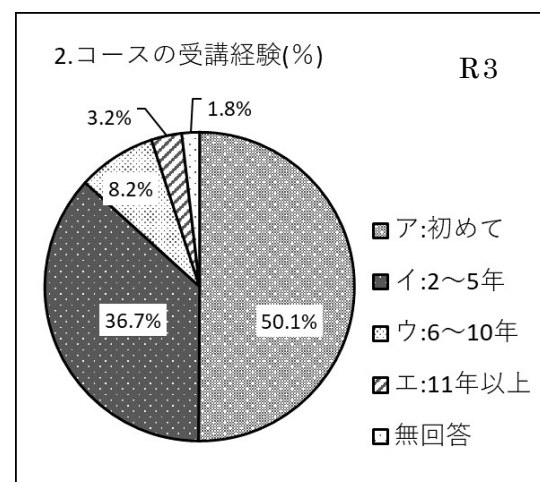
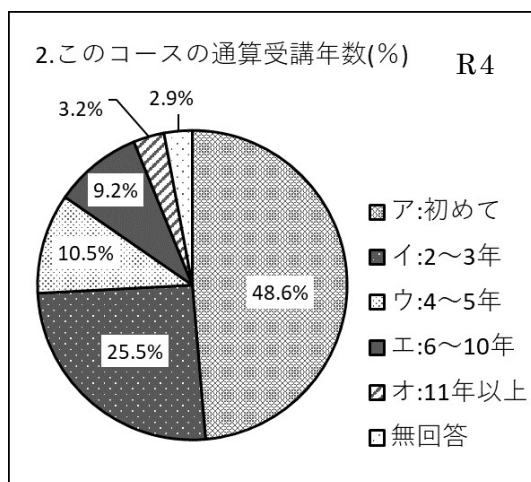


- ・昨年度と同様、受講者の約20%が新規受講者である。
- ・昨年まで「2～5年」としていた選択肢を、今回「2～3年」・「4～5年」に分けて実施し、「初めて」・「2～3年」を合わせて41.4%を占めることが分かった。
- ・一方、6年以上の受講者が38.1% (39.3%) を占めており、中でも「11年以上の受講者」は15.9% (14.8%) を占める。このうち11年～15年が21名、16年～20年が9名、21年～25年が2名、26年以上は8名、最長で45年(第1回から全て)という受講者がいる。

<考察>

- ・3年以内の受講者が約40%いること等から、一定程度の受講者が獲得できていることがうかがえる。
- ・6年以上の受講者も約40%いることから、市民大学への満足度の高さがうかがえる。
- ・中でも11年以上の受講者が約16%もあり、市民大学が生活の一部となっていることがうかがえる。

「2. コースの通算受講年数」について

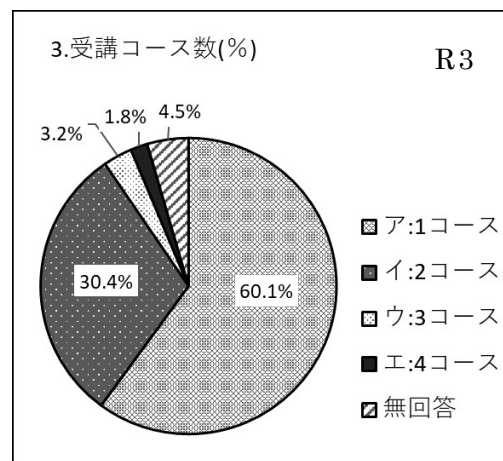
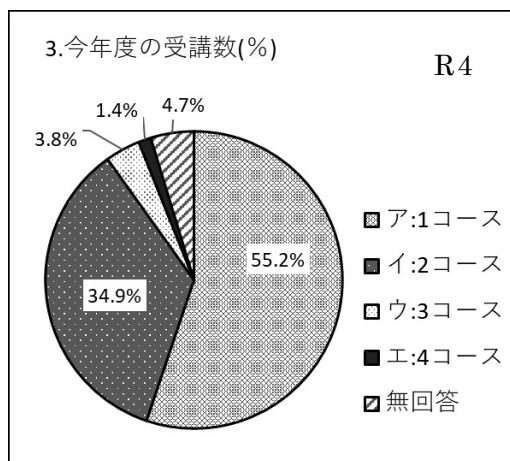


- ・このコースを初めて受講した人は、48.6% (50.1%) で、約半数を占めている。
- ・昨年まで「2～5年」としていた選択肢を、今回「2～3年」・「4～5年」に分けて実施し、「初めて」・「2～3年」を合わせて74.2%を占めることが分かった。
- ・同じコースを6年以上受講している割合は、15.3% (13.2%) とやや増加した。

<考察>

市民大学自体の通算受講年数3年以内の受講者が約40%に対し、コースの通算受講年数3年以内は約75%であることから、約35%の受講者が、コースを変えて市民大学を継続受講していると読み取れる。実際に市民大学を受講したことで、コース内容に満足されるとともに、さらに新しいことへの好奇心や学習意欲が向上したことがうかがえる。

「3. 受講コース数」について



- ・ 2コースを受講している受講者が、昨年 30.4%から 34.9%に増加した。コロナ前のR元年が 35.1%であり、ほぼ近い割合に戻っている。

<考察>

コロナの影響により、2コース目の受講を差し控えていた受講者が、ほぼコロナ前の意識に戻り、積極的に受講されたものと推察する。

(2) 受講コースの評価（時間・回数）について【設問4～6】

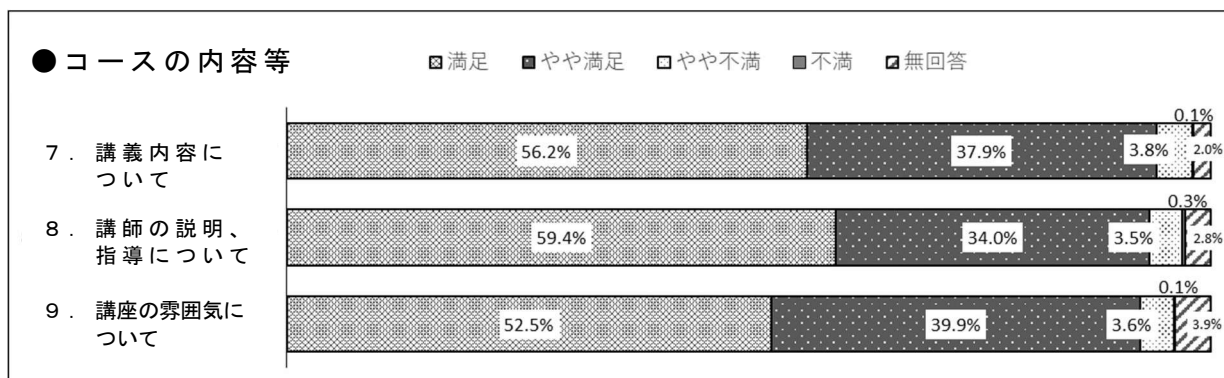
4. 現在の講義時間	ア:長い	イ:短い	ウ:ちょうどよい	無回答
	3.9%	2.3%	92.9%	1.0%
5. 講義の回数	ア:多い	イ:少ない	ウ:ちょうどよい	無回答
	0, 8%	10.1%	87.7%	1.5%
6. 講義の開始時刻	ア:早い	イ:遅い	ウ:ちょうどよい	無回答
	4.8%	1.8%	89.2%	4.2%

- ・ いずれの項目も、約 90%の受講者が「ちょうどよい」と回答している。ただし「講義の回数」については、「少ない」との意見が約 10%ある。
- ・ 開始時刻については、今回新たに追加した設問である。こちらも概ね「ちょうどよい」との回答を得たが、約 5%の受講者は「早い」と感じていることが分かる。

<考察>

- ・ 「講義の回数が少ない」との意見が約 10%あることから、学ぶ意欲の高さがうかがえる。ただし講義時間・回数ともに概ね「ちょうどよい」との意見であったことから、来年度も現状維持としたい。
- ・ 開始時刻についても概ね「ちょうどよい」との意見であったことから、来年度も現状維持としたい。一方で、「早い」と感じている受講者が一定数いることも留意し、今後もアンケート項目に入れて意見を探りたい。

(3) 受講コースの評価（内容等）について【設問7～9】



●自由記述（一部抜粋）

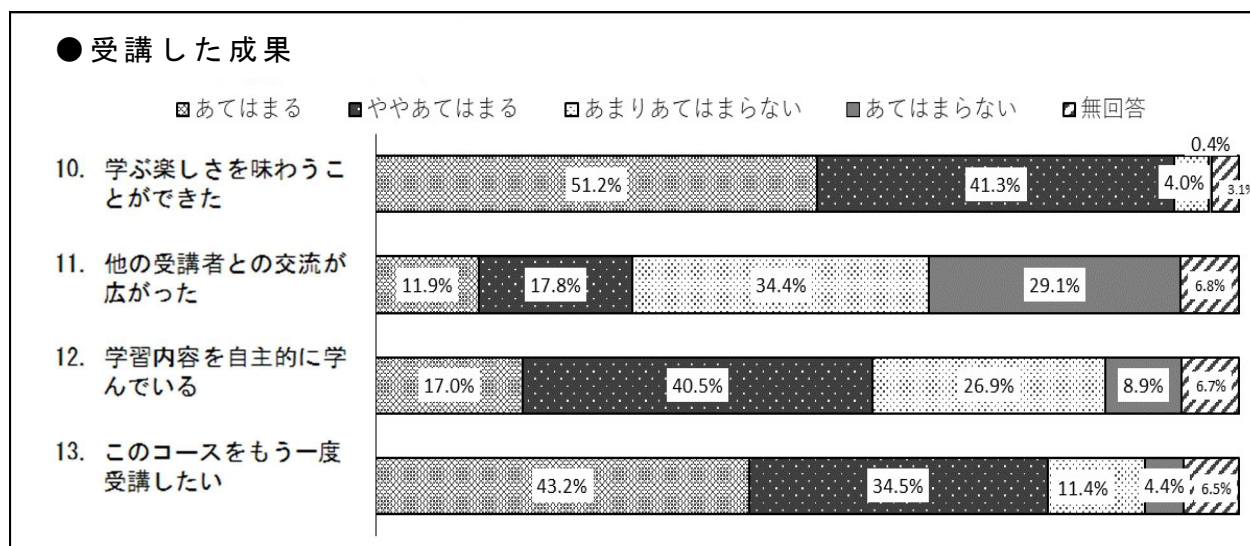
区分	内容
7. 講義内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・講師によって違いが大きい。 ・さまざまな講師の話が聴けて楽しい。 ・地元のことが知れて良かった。 ・テーマと、期待していた講義内容が合っていないで残念。
8. 講師の説明・指導について	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の熱心さが伝わってくる。 ・講師によって違いが大きい。 ・講師によっては、資料の読み上げだけの方もいる。 ・より基礎的なことを詳細に教えてほしい。 ・先生は熱心だが、こちらの理解が追い付かない。 ・マスクで話されるので、聴きにくい。 ・資料の字を大きくしてほしい。 ・質問時間を設けてほしい。 ・現地学習は有意義。
9. 講座の雰囲気について	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気がよい。 ・受講者の中に、雰囲気を乱す人がいる。 ・携帯電話のマナー、おしゃべりマナーが悪い。

- ・「満足」「やや満足」と回答した割合が、「7. 講義内容について」は 94.1% (94.6%)、「8. 講師の説明、指導について」は 93.4% (95.4%)、「9. 講座の雰囲気について」は 92.4% (95.8%) と、いずれも肯定的である。ただし、「講師の説明、指導」「講座の雰囲気」は、昨年より若干減となった。
- ・自由記述では、数名の人が、受講者のマナー違反（私語等）を指摘していた。

<考察>

- ・コース・講座によって差はあるが、概ね受講者のニーズにあった講義が展開されていたことがうかがえ、それが継続して市民大学を受講する人の数に表れていると推察する。
- ・自由記述から、「分かりやすい説明や資料」「質問時間の設定」への一定数の要望があることがうかがえる。さらに魅力ある講座となるように、講師の方々に受講生の要望を伝えていきたい。
- ・携帯電話や私語については、これまでも注意喚起を行っているところではあるが、受講者の学習意欲を妨げないよう、引き続き注意喚起していくことが大切である。

(4) 受講した成果について【設問 10～13】



● 自由記述（一部抜粋）

区分	内容
10. 学ぶ楽しさについて	<ul style="list-style-type: none"> ・知らなかったことを知る楽しさを知った。 ・いろいろな見方でOKと嬉しくなりました。 ・現地での受講が楽しみです。
11. 他の受講者との交流について	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のせいかもしれないが、他の受講者と交流が全くない。 ・受講者間の交流の場がほしい。 ・友達を作るには接点がない。
12. 自主的な学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外の本を図書館で借りて、他の著書の解説も参考にした。 ・先生から紹介された面白そうな本を買って読む。図書館で借りて読む。ネットでさらに調べて内容を深めるなど、多々人生を豊かにさせてもらっている。 ・身につけるため、プリントをスクラップして再読しています。 ・質問を通しての学習が必要だと思った。 ・双方向の意見交換の場があれば良い。 ・自主的に学習する時間的余裕がない。
13. 同コースの再受講について	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいので、また受講したい。 ・今年度新規のコース。大変質の高い充実した学びを得ることができました。まだまだ学びたいと思います。 ・来年も、大学祭でのステージ発表を皆さんでしたい。 ・もう2～3年受講しないと、なかなか難しいです。 ・何回聞いても忘れてしまうので、長年受講したい。 ・これからもずっと受講したいのですが、年老いているので無理かな。 ・講義内容が異なれば、再度受講したい。 ・同じ内容なら、来年は受講しない。

- ・「10. 学ぶことの楽しさを味わうことができた」は、92.5%（95.7%）が概ね肯定的な回答である。ただし昨年度から3%減となった。コース別では、例年どおり、料理・お菓子づくり等の実習講座、篆刻・陶芸・銀粘土等の創作関係、川柳・短歌等、自分で作品等をつくるコースの評価が高い傾向にある。
- ・「11. 他の受講者との交流が広がった」の否定的な回答は63.5%（59.8%）であり、年々増加している。特に座学中心のコースにおいては、ほとんどのコースで平均値は概ね2.0以下にとどまる。自由記述にも、コロナ禍の影響等による、受講者間の接点の無さを指摘する声が多い。
- ・「12. 学習内容を自主的に学んでいる」は、57.5%（51.2%）が肯定的な回答であり、昨年度より6%増となった。コース別では、料理やお菓子づくり、洋画・日本画等の創作関係、俳句・川柳・短歌等の自分で作品をつくるもの、リズム体操等において自主性が高いが、その他のコースは、いずれも低い傾向にある。

- ・今回新たに追加した設問「13. このコースをもう一度受講したい」は、肯定的な回答が77.7%を占めている。特に、洋画・日本画・陶芸等の創作関係、俳句、リズム体操の再受講希望者が多い。次いで、現地学習が多い「美術の世界」「うまい水のルーツを探る」のほか、「豊かな心」や「楽しい法律」、「やくぜん料理」、今年度新設した「古文入門」も再受講希望者が多い。

一方、「富山のまち」「おくのほそ道」「暮らしの実学」「初めての篆刻」の再受講希望の平均値は2.5前後にとどまる。

<考察>

- ・自由記述での「知らなかったことを知る楽しさを知った」等、92.5%の受講者が学ぶ楽しさを感じており、生涯学習を推進する場として、その役割を一定程度果たしているものと考えられる。
- ・他の受講者との交流については、否定的な回答が昨年よりさらに増加した。コロナ禍により意見交換等を控えてもらっているため、受講者同士の関わりが少ないこと等から、今後もこの傾向は続くものと考えられる。
- ・自主的な学習については、肯定的な回答が昨年より増加した。特に創作系において自主性が高い傾向にあるが、自由記述において「先生から薦められた本を読む」「ネットでさらに調べて理解を深める」等、座学受講者の声も見られた。
- ・コース再受講に関する設問は、今回新たに設けたものであるが、これにより、コースごとの再受講希望者の割合が可視化できた。肯定的な回答が77.7%を占め、特に創作系や俳句での再受講希望の高さは、学んだ成果を実感しやすいことや、短期間での習熟は難しいことなどが要因と考えられる。一方、再受講希望が少ないコースにおいては、自由記述から「マンネリ化」「テーマと内容の不致」等の要因も考えられる。同じコースを再受講することが必ずしも良いわけではないが、今後のコース・講義内容を検討する際に考慮していきたい。

(5) コース全般について【設問14：自由記述】（一部抜粋）

区 分		内 容
感想	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・同じコースでも、受講するたびに新しい発見がある。 ・学ぶことの楽しさを知りました。 ・楽しいひととき、毎回楽しみました。 ・久しぶりに学生時代に戻った感があり、良かった。 ・学ぶことは年齢と関係がないと思うようになった。 ・知識が広がり、さらに勉強したくなった。 ・とても良かったです。講師の方には感謝です。 ・人生の視野が広がった。 ・来年度からも、ずっと続きますように。
	郷土	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の自然を再確認できた。 ・富山について知らないことがあり、驚かされる。 ・郷土愛を深めることにもつながった。
	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢とともに行動が遅くなり、少しでも外出して参加することで、現状維持に役立っています。
	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の皆さんが熱心で、刺激を受けている。 ・和気あいあいとして、楽しかったです。 ・（県外出身者のため）知り合いが一人もいなかったのも、とても良い気分転換になりました。その土地も知れて嬉しかったです。富山弁も新鮮でした。 ・スタッフの方にも大変よくしていただき、ありがとうございました。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を増やしてもいいから、もう少し深く掘り下げた内容にしてほしい。 ・深く掘り下げた専門的な講義もあり、難しく感じました。 ・コロナ禍で声を出して詩を楽しめないのが残念です。 ・他の受講者との意見交換があるとよい。 ・駐車料金が安い。 	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の講義も継続してほしい。 ・講師の経歴等の紹介は、簡単にしたほうが良い。 ・オンライン講座を希望します。 	

(6) 市民大学全般について【設問 15～22】

「15. 開設コース・学習内容等の情報取得手段」について

項目	R4	(R3)
ア. 広報とやま	78.9%	81.5%
イ. 富山市ホームページ	18.2%	15.5%
ウ. ラジオ・テレビ	0.8%	0.6%
エ. 地区センター等	2.2%	2.1%
オ. 友人・知人	10.0%	11.9%
カ. その他	4.0%	4.4%

< 考察等 >

- 市民大学の情報取得手段としては、例年どおり「広報とやま」が約80%を占め、最も多い。
- 富山市ホームページを情報取得手段とする割合が、昨年より約3%増加した。
- その他では、「大学祭」という回答も見られた。
- 引き続き、「広報とやま」での周知を継続するとともに、ホームページの充実に努めたい。

「16. 受講の動機」について

項目	R4	(R3)
ア. ものの見方、考え方を広げたい	36.2%	37.1%
イ. コース内容に関心がある	64.5%	66.3%
ウ. 講師に魅力を感じた	16.6%	14.5%
エ. 余暇を有意義に過ごしたい	52.0%	54.9%
オ. 地域社会の活動や自分の活動に生かしたい	4.9%	6.5%
カ. 友人・知人に誘われた	7.0%	5.4%
キ. 人間関係を広げたい	6.5%	—
ク. 受講料が安価である	30.6%	32.5%
ケ. 講義会場が通いやすい	21.8%	29.8%
コ. 他の講座にも興味が沸いた	9.8%	—
サ. 毎年受講しているから	22.9%	—
シ. その他	1.6%	4.4%

< 考察等 >

- 「コース内容に関心がある」が最も多い。次いで、「余暇を有意義に過ごしたい」「ものの見方・考え方を広げたい」となっており、例年どおりの傾向である。
- 次に「受講料が安価である」「講義会場が通いやすい」が多いことも例年どおりであり、物理的な面も動機の一つとなっているようである。
- 新たに設けた項目「毎年受講しているから」が22.9%を占め、市民大学が生活の一部となっている受講者も、少なからずいるものと考ええる。
- 新たに設けた項目「人間関係を広げたい」は6.5%にとどまり、市民大学において交流を求める受講者が少ないことが分かる。
- 余暇を有意義に過ごすために市民大学を受講し、新たな知識の獲得や趣味等を開拓されているといった状況が読み取れる。

「17. 講義会場へ来場する際の主な交通手段」について

項目	R4	(R3)
ア. 徒歩	15.6%	/
イ. 自転車	14.0%	
ウ. 自家用車	45.4%	
エ. 公共交通機関	36.4%	
オ. その他	0.8%	

< 考察等 >

- 今回、新たに設けた設問である。
- 自家用車が45.4%とほぼ半数を占める。次に公共交通機関が36.4%と、約3割を占める。
- 自家用車が最も多いとはいえ、公共交通機関も多く、公共交通機関を利用した「まちなか」へのお出かけ促進を図る富山市の政策に資する事業の一つとなっていると考える。

「18. 市民大学で学んでよかったと思うこと」について

項目	R4	(R3)
ア. 自分の人生をより豊かにしている	76.6%	80.6%
イ. 家庭・日常生活に生かしている	21.6%	22.1%
ウ. 自分の健康の維持・増進に役立っている	39.0%	33.6%
エ. 地域活動やサークル活動、ボランティア活動等に生かしている	4.9%	4.5%
オ. 分からない	1.7%	3.1%
カ. その他	3.8%	—

< 考察等 >

- ・76.6%の受講者が、「自分の人生をより豊かにしている」と回答している。
- ・次の「健康維持・増進に役立つ」は39.0%を占め、「リズム体操」や「100歳まで歩こう」など実際に体を動かすコース以外においても、さまざまなコースに健康に関する内容が組み込まれていることが理由の一つと考えられる。
- ・また「14.自由記述」に見られた、講座に参加するために「外出する」、あるいは講座で家族以外の人と「交流する」ことが、健康維持・増進に繋がっていることも推察する。

「19. 市民大学に今後期待すること」について

項目	R4	(R3)
ア. 質の高い、充実した講座の提供	49.7%	58.4%
イ. 専門性の高い講座の提供	20.7%	28.5%
ウ. 基礎的で分かりやすい講座の提供	56.6%	—
エ. 人間関係が広がる講座の提供	14.4%	15.0%
オ. 他では実施していない講座の提供	16.9%	30.0%
カ. その他	8.3%	11.1%

< 考察等 >

- ・新たに設けた項目「基礎的でわかりやすい講座の提供」が56.6%を占め、最も要望が多い。
- ・一方で、「専門性の高い講座の提供」が20.7%と一定数を占める。
- ・「質の高い、充実した講座の提供」は49.7%を占めており、例年どおり要望が多く、上記いずれの受講者にも共通する要望と考える。
- ・「質の高い、充実した講座の提供」に努めることを基本に、基礎的な講座の開設に力を入れ、併せて専門性の高い講座も継続するなど、市民ニーズに合ったコース・講座の提供に努めたい。

「20～22. デジタル環境」について

20.パソコンやスマートフォン等を所有している	ア. はい	イ. いいえ	ウ. 予定がある	エ. 予定はない	無回答
	83.8%	7.4%	0.7%	3.0%	5.1%
21.インターネットを普段から活用している	ア. はい	イ. いいえ	ウ. 予定がある	エ. 予定はない	無回答
	65.1%	20.4%	0.7%	4.8%	9.0%
22.電子メールを普段から活用している	ア. はい	イ. いいえ	ウ. 予定がある	エ. 予定はない	無回答
	63.2%	20.6%	0.7%	5.1%	10.4%

< 考察等 >

- ・受講手続き等のデジタル化の可能性を探るために調査し、60%以上の受講者は、普段からデジタル機器を活用していることが判明した。
- ・今後、デジタル化へのニーズ等を探りながら、よりよい市民サービスを提供できるよう努めたい。

7 アンケート全般について（考察）

- ・継続受講や他のコースも受講してみたいと思う受講者は相当数おり、引き続き満足度を高める工夫をするとともに、市民大学を知らない方に周知を行い、新規の受講者獲得に努めることが重要である。一方で、多彩なコースを限られた人員で同時進行で行っており、コース増などは容易ではない現状がある。
- ・今後も引き続き、定員の充足率を指標として、さらに市民ニーズに応じた多彩なコース開設や講師選定に努めるとともに、市広報をはじめ、大学祭や特別講義、特別講演会の周知を今以上に工夫し、受講者数の向上に努めたい。

令和4年度 富山市民大学に関するアンケート

受講コース名

※ 富山市民大学運営の参考にするため、以下のアンケートにご協力をお願いします。
(該当する項目に○を付けてください。)

● 受講経験等について

1	市民大学の通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上(年)
2	このコースの通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上(年)
3	今年度の受講数	ア 1コース	イ 2コース	ウ 3コース	エ 4コース以上(コース)	

● このコースの時間・回数等について

4 現在の講義時間(休憩を含み120分など)	ア 長い	イ 短い	ウ ちょうどよい
5 講義の回数(10回・15回など)	ア 多い	イ 少ない	ウ ちょうどよい
6 講義の開始時刻	ア 早い	イ 遅い	ウ ちょうどよい

● このコースの内容等

質 問 項 目	評 価 欄			
	満足	やや満足	やや不満	不満
7 講義内容について	4	3	2	1
8 講師の説明、指導について	4	3	2	1
9 講座の雰囲気について	4	3	2	1
自由記述	※ 7～9についてご意見がありましたら、ご記入ください。			

● このコースを受講した成果

質 問 項 目	評 価 欄			
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
10 学ぶ楽しさを味わうことができた	4	3	2	1
11 他の受講者との交流が広がった	4	3	2	1
12 学習内容を自主的に学んでいる	4	3	2	1
13 このコースをもう一度受講したい	4	3	2	1
自由記述	※ 10～13についてご意見がありましたら、ご記入ください。			

● このコースを受講しての感想をお書きください。(自由記述)

14	
----	--

裏面に続く

ここからは、一人1回の回答となります。
他のコースで記入された方は、回答されなくて結構です。

- 今年度の開設コース及び学習内容を知った方法（該当するものすべてに○を付けてください。）

15	ア 広報とやま	イ 富山市ホームページ	ウ ラジオ・テレビ
	エ 地区センター等	オ 友人・知人	カ その他()

- 受講の動機（該当するものすべてに○を付けてください。）

16	ア ものの見方、考え方を広げたい	イ コースの内容に関心がある	ウ 講師に魅力を感じた
	エ 余暇を有意義に過ごしたい	オ 学習したことを地域社会の活動や自分の活動に生かしたい	
	カ 友人・知人に誘われた	キ 人間関係を広げたい	ク 受講料が安価である
	ケ 講義会場まで通いやすい	コ 他の講座にも興味が沸いた	
	サ 毎年受講しているから	シ その他()	

- 講座会場へ来場する際の主な交通手段（該当するものに○を付けてください。）

17	ア 徒歩	イ 自転車	ウ 自家用車
	エ 公共交通機関	オ その他()	

- 市民大学で学んでよかったと思うこと（該当するものすべてに○を付けてください。）

18	ア 自分の人生をより豊かにしている
	イ 家庭・日常生活に生かしている
	ウ 自分の健康の維持・増進に役立っている
	エ 地域活動やサークル活動、ボランティア活動等に生かしている
	オ 分からない
	カ その他()

- 市民大学に今後期待すること（該当するものすべてに○を付けてください。）

19	ア 質の高い、充実した講座の提供
	イ 専門性の高い講座の提供
	ウ 基礎的で分かりやすい講座の提供
	エ 人間関係が広がる講座の提供
	オ 他では実施していない講座の提供
	カ その他（具体的に書いてください。）

- デジタル環境について（該当するものに○を付けてください。）

20	パソコンやスマートフォン等を所有している	ア はい	イ いいえ	ウ 予定がある	エ 予定はない
21	インターネットを普段から活用している	ア はい	イ いいえ	ウ 予定がある	エ 予定はない
22	電子メールを普段から活用している	ア はい	イ いいえ	ウ 予定がある	エ 予定はない

※ ご協力ありがとうございました。

V 令和5年度 事業計画案

1 スケジュール

月/日	事 項
令和5年 3/4、6、7	富山市民大学 受講申込み受付 (郵送受付 2/15～3/7)
4/7、8、10	富山市民大学 受講手続き及び追加募集
4/17	富山市民大学開講式・特別講演会
8月	わくわくキッズ教室(夏休み)
11/30～12/2	第43回富山市民大学祭
12月	わくわくキッズ教室(冬休み)
令和6年 1月～2月	特別講義(全5回)
2月	令和5年度富山市民大学閉講式・特別講演会 令和5年度富山市市民学習センター運営協議会
3月	令和6年度富山市民大学 受講申込み 富山市民大学「学報2023」発刊

2 令和5年度 富山市民大学の概要

- (1) コース数 53 コース {R4 53 コース}
 (2) 定員 1,829 人 {R4 1,818 人}
 (3) 受講料 変更なし
 講義10回まで 3,000円
 講義11回以上 4,000円

(4) コースの見直し

- 【新規開設】 なし
 【廃止】 なし
 【中止】 1 コース 合唱（新型コロナウイルス感染拡大防止）
 【変更】 17 コース （主に実態に応じた見直し）

区分	コース名	見直し内容
①会場・定員変更	漢詩漢文の世界へ	講義室1 → 講義室2 60人 → 25人
	富山の郷土玩具”土人形”を作ろう	大沢野生涯学習センター → 大沢野会館 12人 → 16人
	日本画（大沢野）	大沢野生涯学習センター → 大沢野会館 14人 → 16人
②会場変更	うまい水のルーツを探る	大山地域市民センター ほか →大庄公民館 ほか
③定員変更	落語のはなし	130人→140人
	日本の歌、世界の歌	40人 → 50人
	郷土の料理	12人 → 18人
	家庭でできる『やくぜん料理』	12人 → 18人
	陶芸（前期A・B、後期A・B）	8人 → 10人
④コース名変更	道・未知・ミチの考古学	墳墓・古墳・お墓の考古学
	おくのほそ道をたどる	おくのほそ道をよむ
	初めての篆刻	篆刻
⑤単独講師変更	川柳を楽しむ	
	洋画	

要項・学習日程

2023

富山市民大学

Foyama Citizen's College



富山市教育委員会
市民学習センター

2023 富山市民大学要項

目 次

1	令和5年度 富山市民大学概要.....	1
2	受講について.....	2
3	関連行事「第43回富山市民大学祭」.....	3
4	関連事業.....	3
5	富山市民大学コース一覧.....	4
6	学習日程表	
	(1) 一般.....	7
	(2) 創作.....	26
	(3) プラネット.....	30

富山市民大学の歌	
志田延義 作詞	
渡辺一郎 作曲	
一、学習仲間の輪を拓げては	
学び続ける わたくしたちの	
意欲よろこび 山涛見上げる	
富山市民大学 市民大学	
二、今日から明日へ 若きも老いも	
聴いては調べ 表し創る	
開く心は 海空と青い	
富山市民大学 市民大学	
三、男性女性も 助け合っては	
花に紅葉に 雪にも競う	
学習の場の 集い謳おう	
富山市民大学 市民大学	
(昭和62年制定)	

表紙のカットは、富山市民大学のシンボルマークです。《樗（けやき）》に、平和の象徴の《はと》と恵みのもと《太陽》で、Toyama（とやま）のToをかたどったものです。
図案 小西安治氏（富山市）

1 令和5年度 富山市民大学概要

- (1) 趣 旨 富山市民大学は、「市民の皆さまの生涯学習」を支援するために、年度を通して系統的な内容による継続的な学習機会を提供します。
郷土の魅力を再発見する「富山を学ぶ」内容をはじめとして、実生活を豊かにするものから、国際的な視点を養うものまで、幅広い分野に及ぶコースをご用意しています。
併せて、受講者同士のふれあいを大切にし、心豊かな暮らしの一助となることを目指します。
- (2) 対 象 者 市内に居住または勤務されている方
- (3) 期 間 令和5年4月～12月
- (4) 開設コース ① 一 般 37コース
② 創 作 9コース
③ プラネット 7コース
- (5) 日時及び会場 コースごとに異なります。
「学習日程表」(P7～)をご確認いただき、お間違いのないよう、ご注意ください。
- (6) 受 講 料 10回以下のコース・・・1コース 年間3,000円
11回以上のコース・・・1コース 年間4,000円
※いったん納入された受講料は返還できません。
- (7) 実 費 負 担 ○資料代、教材費、現地学習の経費等は自己負担となります。
※事前準備を行うため、当日及び直前に受講をキャンセルされた場合は、実費相当分を負担していただく場合があります。
○資料は一人1部です。当日欠席された方で資料をご希望の場合は、次回の受講日にお申し出ください。
- (8) 開講式・閉講式 【開 講 式】令和5年4月17日(月) 午後1時30分から
富山市民プラザ 4階アンサンブルホール
【閉 講 式】令和6年2月中旬(予定)
※各式の後、併せて特別講演会を実施します。
- (9) 問い合わせ先
富山市民学習センター
〒930-0084 富山市大手町6番14号(市民プラザ内)
☎ 493-3500 FAX 491-4685
- ホームページは、富山市民ホームページ(ページID「1010580」)をご覧ください。

2 受講について

- (1) 講義日時や会場の確認について
学習日程表(P7~)に、コースの日程、学習題、会場等を掲載しています。
受講されるコースの講義日と会場を、必ず確認してご参加ください。
(講義日によって会場が変わるコースもありますので、ご注意ください。)
- (2) 受講時のお願い
- ・コースごとに発行される受講証(名札兼)を、着用又は提示してください。
(コース初回に配付して、最終回に回収します。)
 - ・受講証は、紛失しないようご注意ください。また、受講証を複製したり、知人等に貸したりしないようお願いします。
 - ・毎回、出席簿に○をつけてください。
 - ・講義中の写真撮影や録音等、及び配付資料の受講目的以外での活用は、ご遠慮ください。
- (3) 学習内容等の変更について
- ・諸々の理由により、講師・日程・会場・学習題等を変更する場合がありますので、ご了承ください。
 - ・変更の場合はホームページの掲載及びハガキ等により事前にお知らせします。
- (4) その他
- ・受講申込時の連絡先に変更があった場合は、必ずご連絡ください。
 - ・富山市民プラザには無料の駐車場はありません。

<新型コロナウイルス対策等について>

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じて開講いたします。
- ・3密(密閉、密集、密接)の回避、マスクの着用、入室前の手指の消毒、検温、講義室内の定期的な換気等にご協力をお願いいたします。
特にマスク未着用の方は、受講をお断りさせていただきます。
- ・感染拡大状況などにより、内容及び日程等を変更する場合がありますので、ご了承ください。

3 関連行事「第43回富山市民大学祭」

市民大学の一年間の学習成果を発表し、受講者相互の交流を深めるとともに、広く市民が参加できる機会として、生涯学習の普及啓発を図ります。

- 日 時 令和5年11月30日(木)～12月2日(土)
- 会 場 富山市民プラザ2階 アトリウム、ギャラリーほか
- 内 容 ・学習発表(パネル展示、作品展示、ステージ発表)
・関連行事(特別講演会、公開講座、体験レッスン) など

※詳しくは、広報とやま・市ホームページ等でお知らせします。

4 関連事業

大人から子どもまで、幅広い生涯学習の啓発を図るため、多彩なメニューの講座、教室を開催します。(詳しくは、広報とやま・市ホームページ等でお知らせします。)

また学習成果等を記録し、生涯学習資料として保存します。

(1) 特別講義

市民大学コース(一般、創作、プラネット)の枠を超えた学習機会として、年5回程度の特別講義を開催します。

(2) 特別講演会

開講式や閉講式、大学祭等に併せ、年4回程度の特別講演会を開催します。

(3) わくわくキッズ教室

小学1～3年生を対象に、夏休み等に年数回の教室を開催します。

(4) 市民大学叢書・学報の発刊

- ①叢 書 特別講演会の講演内容を収録して保存しています。
生涯学習の教材として、希望者には有料で頒布しています。
- ②学 報 市民大学事業の学習成果等を収録し保存しています。
希望者には有料で頒布しています。

5 富山市民大学コース一覧

日時・会場・学習題など、詳しくは各コースの「学習日程表」頁でご確認ください。

(1) 一般

【会場】市民学習センター（市民プラザ） 講義室ほか

No	コース名	分野	曜日・開始時刻	回数	定員	内容	頁
101	富山の環境の未来を学ぶ	郷土	(木) 9:30	10	25	未来を見据え、富山の環境について市の施策等を学びます。	7
102	富山のまちのこれからを考える	郷土	(金) 13:30	10	25	富山のまちの過去や現在の姿、市の施策等を学びます。まちなか見学も行います。	7
103	立山黒部ジオパークを知る	郷土	(水) 9:30	10	60	富山の地形・地質が生み出す自然環境や歴史を通し、ジオパークとは何かを学びます。	8
104	郷土の歴史	郷土	(木) 13:30	10	60	古代から近代まで、富山にまつわる歴史を学びます。	8
105	墳墓・古墳・お墓の考古学	郷土	(金) 9:30	10	60	縄文～江戸時代の「お墓」から当時の社会状況を学びます。	9
106	富山の民話	郷土	(木) 13:30	10	25	読み語りや解説で、郷土に伝わる民話などを学びます。民俗民芸村での語りもあります。	9
107	日本の歴史	歴史	(水) 13:30	10	60	縄文時代から近代まで、さまざまな視点で日本の歴史を学びます。	10
108	世界の歴史	歴史	(月) 13:30	10	60	古代から20世紀まで、さまざまな視点で世界の歴史を学びます。	10
109	中国史に学ぶ	歴史	(木) 13:30	10	60	中国史をひもとき、近世中国の国家機構などについて学びます。	11
110	生活文化の歴史	歴史	(木) 13:30	10	25	人間の基本的な営みである食・住の視点から、生活文化の歴史を学びます。	11
111	歴史史料をひもとく	歴史	(月) 13:30	10	25	古代から近代まで、さまざまな歴史史料から、当時の人々の営みを体感します。	12
112	古典歌謡への旅	文学	(火) 13:30	10	25	古典歌謡「閑吟集」などを読み、味わいます。	12
113	おくのほそ道をよむ	文学	(水) 9:30	10	25	「おくのほそ道」テキストを、解説と共に味わいます。	13
114	漢詩漢文の世界へ	文学	(水) 9:30	10	25	漢詩や故事、論語を通じて、漢文に親しみます。	13
115	古文入門	文学	(火) 9:30	10	25	高校の教科書で読まれている、親しみやすい古文に触れ、楽しさを再発見します。	14
116	江戸時代の文学を読む	文学	(水) 13:30	10	25	江戸時代の文学「雨月物語」を味わいます。	14
117	暮らしを彩る短歌の楽しみ	文学	(金) 9:30	10	25	日々の暮らしの中で短歌を詠み、講座仲間と共感する楽しみを味わいます。	15
118	俳句入門	文学	(水) 13:30	10	20	現代俳句の基礎を学び、句会の楽しさを味わいます。	15
119	川柳を楽しむ	文学	(月) 13:30	10	20	川柳づくりの基礎を学び、句会の楽しさを味わいます。	16
120	文学へのいざない	文学	(金) 13:30	10	25	短編小説の感想を語り、文学を深く味わいます。	16
121	落語のはなし	文化	(金) 9:30	10	140	古典文化「落語」に表現された豊かなものの見方や考え方にふれ、味わいます。	17
122	日本の歌、世界の歌	文化	(木) 9:30	10	50	美しい生演奏や歌唱を交えて、さまざまな名歌に親しみ、音楽の美しさを味わいます。	17
123	音楽サロン	文化	(火) 13:30	10	60	18～20世紀の欧米音楽(歌、器楽、管弦楽演奏)を鑑賞します。	18

No	コース名	分野	曜日・開始時刻	回数	定員	内容	頁
124	世界の国々	文化	(金)13:30	10	60	世界の国々の国内事情や文化などを、国際交流員や現地で生活された方々から学びます。	18
125	美術の世界	文化	(火)13:30	10	30	さまざまな美術作品を鑑賞しながら、その文化や歴史を学びます。(現地学習7回予定)	19
126	生活医学薬学を学ぶ	健康	(金)9:30	10	60	健康な生活をおくるため、さまざまな医学・薬学を学びます。	19
127	健康生活の知恵	健康	(金)13:30	10	60	食や生活習慣等、さまざまな視点から、健康に暮らすための知恵を学びます。	20
128	楽しい脳トレーニング	健康	(火)9:30	10	60	問題を楽しく解きながら、脳をフルに使って活性化させる脳トレーニングを行います。	20
129	豊かな心	健康	(木)9:30	10	130	「いのち」と「生きる」ことについて考え、癒される時間を過ごします。	21
130	リズム体操	健康	(火)13:30	15	30	ストレッチで身体をほぐし、音楽に合わせて楽しく体操し、心も身体も元気にします。	21
131	100歳まで歩こう	健康	(水)13:30	10	30	前半5回のストレッチで身体を整え、後半5回でノルディック・ウォークを行います。	22
132	暮らしの実学	生活	(水)13:30	10	60	実生活に役立つさまざまな事柄を、各界の専門家から学びます。	22
133	楽しい法律	生活	(土)13:30	10	60	家庭や社会生活、財産にかかわる身近な法律を楽しく学びます。	23
134	郷土の料理	生活	(火)9:30	10	18	富山に伝わる郷土料理を学び、作ります。	23
135	家庭でできる『やくぜん料理』	生活	(火)9:30	8	18	富山の「やくぜん料理」を学び、作ります。	24
136	季節の和菓子づくり	生活	(木)10:00	10	12	季節に応じた和菓子を学び、作ります。	24
137	スイーツで0・MO・TE・NA・SHI	生活	(木)10:00	10	12	おもてなしにぴったりなスイーツを学び、作ります。	25
計				373	1,590		

(2) 創作 【会場】市民学習センター(市民プラザ)、陶芸実習施設(花木)

No	コース名		曜日・開始時刻	回数	定員	内容	会場	頁	
201	洋	画	(土)10:00	15	20	静物画、人物画、風景画など基本を学び、作品を制作します。	市民学習センター アトリエ	26	
202	日	本	画	(金)13:30	15	20		デッサンや絵具の使い方を初歩から学び、作品を制作します。	26
203	版	画	(金)9:30	15	20	彫刻刀の扱い・彫り・本摺りまでの工程を順に学び、作品を制作します。		27	
204	切	り	絵	(月)13:30	15	20		手法や技法などを順に学び、人形や置物の図柄を切って作品を制作します。	27
205	篆	刻	(木)14:00	10	20	落款などの基本を学び、中国の篆書文字を石印材に刻んで印を制作します。		28	
206	陶芸	前期	A	(金)13:30	10	粘土成型や釉薬がけなどの基本を学び、作品を制作します。 ※後期の募集は、「広報とやま(7月20日号予定)」に掲載します。	陶芸実習施設 (花木体育センター 地内)	29	
207		(5~7月)	B	(火)13:30	10				10
208		後期	A	(金)13:30	10				10
209		(8~11月)	B	(火)13:30	10				10
計				110	140				

(3) プラネット

No	コース名		分野	曜日・開始時刻	回数	定員	内容	会場	頁
301	富山の郷土玩具 “土人形”を作ろう		創作	(火)13:00	10	16	原型で粘土の人形を作り、窯焼き・彩色して作品を作ります。	大沢野会館 (旧大沢野 生涯学習センター隣)	30
302	日本画(大沢野)		創作	(土)10:00	15	16	デッサンや絵具の使い方を初歩から学び、作品を制作します。		30
303	うまい水のルーツを探る		郷土	(木)9:30	10	20	小水力発電所などの現地学習を交え、水について学びます。	大庄公民館ほか	31
304	現代切り絵		創作	(木)13:30	15	8	さまざまな切り方などの基本を学び、作品を制作します。	八尾コミュニティセンター	31
305	手作り銀粘土 アクセサリ	前期	創作	(火)13:30	5	12	銀粘土でアクセサリ(ペンダントトップと指輪)を制作します。	婦中ふれあい館	32
306		後期	創作	(火)13:30	5	12	※後期の募集は、 「広報とやま(8月5日号予定)」 に掲載します。		
307	飛越往来		郷土	(水)10:00	10	15	細入地域を中心に、越中と飛騨の歴史を学びます。	猪谷関所館	32
計					70	99			

合計	53 コース	553 回	1,829 人
----	--------	-------	---------

6 学習日程表

(1) 一般

101 富山の環境の未来を学ぶ

会 場 市民学習センター4階 講義室2

時 間 9:30~11:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・18 (木)	ゼロカーボンシティ政策と 海洋プラスチックごみ対策で つなぐ環境の未来	市環境政策課 副主幹 塚本 紘己 小林 慶一
2	6・8 (木)	化石から探る地球環境 の変遷 ー恐竜時代、現在そして未来ー	富山大学学術研究部 都市デザイン学系 教授 佐野 晋一
3	6・22 (木)	イタイイタイ病から学ぶ 土の大切さ	富山大学学術研究部 理学系 准教授 蒲池 浩之
4	7・6 (木)	富山の空と雲	富山大学学術研究部 都市デザイン学系 教授 杉浦幸之助
5	7・20 (木)	エコチル調査からみた 富山の環境	富山大学学術研究部 医学系 教授 稲寺 秀邦
6	9・14 (木)	富山の気候と地球温暖化	富山大学学術研究部 都市デザイン学系 教授 安永 数明
7	9・28 (木)	富山湾の特徴とその海水 を利用した陸上養殖	近畿大学水産研究所 富山実験場長・教授 家戸 敬太郎
8	10・12 (木)	富山の雪と氷	富山大学学術研究部 都市デザイン学系 教授 杉浦幸之助
9	10・26 (木)	気候変化と日本海の 海洋環境	富山大学学術研究部 都市デザイン学系 教授 田口 文明
10	11・9 (木)	微生物から環境を捉え、 未来を考える	富山大学 名誉教授 中村 省吾

102 富山のまちのこれからを考える

会 場 市民学習センター4階 講義室2ほか

時 間 13:30~15:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・19 (金)	中心市街地の賑わいと 歩きたくなるまちづくり	市まちづくり推進課 課長代理 佐伯 哲弥
2	6・9 (金)	都市の本来的価値と 富山市のまちづくり	早稲田大学 名誉教授 宮口 侗迪
3	6・23 (金)	地図から考える 富山のまちの履歴と将来	富山大学学術研究部 教育学系 教授 山根 拓
4	7・7 (金)	富山の交通 ー並行在来線を中心にー	富山高等専門学校 国際ビジネス学科 教授 岡本 勝規
5	7・21 (金)	富山の港湾と貿易 ー中古車輸出を中心にー	
6	8・4 (金)	富山駅及び周辺にみる まちづくりの方向性	富山国際大学 名誉教授 長尾 治明
7	9・15 (金)	富山の商業環境	富山大学学術研究部 人文科学系 教授 大西 宏治
8	9・29 (金)	【現地学習】 富山市の中心市街地の見学	
9	10・13 (金)	富山の農林水産業と食	
10	11・17 (金)	都市と農村	

103 立山黒部ジオパークを知る

会 場 市民学習センター4階 講義室1

時 間 9:30~11:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・17 (水)	地球でつながるジオパーク	立山黒部 ジオパーク協会 研究教育部会長 國 香 正 稔
2	5・31 (水)	富 山 ～森川海の水・物質の循環～	富山大学学術研究部 理学系 教授 張 勁
3	6・14 (水)	最終氷期から現在までの 立山の地形の変遷	富山県立山カルデラ 砂防博物館 学芸課長補佐 福井幸太郎
4	6・28 (水)	富山の化石 ：楽しみ方から保全まで	市科学博物館 学芸員 吉 岡 翼
5	7・19 (水)	飛越往来と西猪谷関所	猪谷関所館 館長 舟 杉 克 巳
6	9・13 (水)	富山平野のジオストーリー ：海と山の攻防	立山黒部 ジオパーク協会 学術顧問 竹 内 章
7	9・27 (水)	黒部の地形と水循環	黒部市吉田科学館 学芸員 野 寺 凜
8	10・11 (水)	魚津埋没林の保全と 活用	魚津埋没林博物館 学芸員 打越山詩子
9	10・25 (水)	地震がつくる富山の 風土	富山県立山カルデラ 砂防博物館 学芸課長補佐 丹 保 俊 哉
10	11・8 (水)	植物から見た 立山黒部ジオパークの 現在・過去・未来	魚津埋没林博物館 館長 石 須 秀 知

104 郷土の歴史

会 場 市民学習センター4階 講義室1

時 間 13:30~15:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・18 (木)	文明13年砺波郡一揆とは何か —瑞泉寺『闘諍記』再読—	大山歴史民俗研究会 会長 久 保 尚 文
2	6・1 (木)	修復始まる重要文化財森家住宅 —廻船問屋の建物の特徴と魅力—	専門学校 職藝学院 学院長・教授 上 野 幸 夫
3	6・15 (木)	木曾義仲と巴	ふるさとの会 顧問 五十嵐 清
4	7・6 (木)	佐々成政の諸問題 —生年・家族・署判・文芸その他—	市郷土博物館 主査学芸員 萩 原 大 輔
5	7・20 (木)	おわらの変遷	富山県民謡 越中八尾おわら保存会 資料編纂部長 嘉 藤 稔
6	9・7 (木)	誕生！富山市 —明治期、都市富山の変遷—	市教育委員会 生涯学習課 文化財係長 尾 島 志 保
7	9・21 (木)	翁久允と富山 —戦時中の『高志人』	富山大学学術研究部 教養教育学系 准教授 水野真理子
8	10・5 (木)	呉羽丘陵のやきもの6000年	市民俗民芸村 学芸員 高 木 好 美
9	10・19 (木)	富山の引札 —福神様に願いをこめて—	市郷土博物館 館長 坂 森 幹 浩
10	11・2 (木)	富山駅と周辺市街地の あゆみ	市郷土博物館 学芸員 浦畑奈津子

105 墳墓・古墳・お墓の考古学

会 場 市民学習センター4階 講義室1

時 間 9:30~11:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・12 (金)	まじないとお墓	市埋蔵文化財センター 所長 堀 沢 祐 一
2	5・26 (金)	お墓と縄文人	市埋蔵文化財センター 学芸員 納屋内高史
3	6・9 (金)	弥生墳墓から古墳へ	市埋蔵文化財センター 学芸員 泉 田 侑 希
4	6・23 (金)	神通川左岸の墳墓群 —百塚古墳群—	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 鹿 島 昌 也
5	7・14 (金)	杉谷丘陵の墳墓群 —杉谷古墳群—	市埋蔵文化財センター 学芸員 泉 田 侑 希
6	9・8 (金)	羽根丘陵の墳墓群 —史跡王塚・千坊山遺跡群—	市埋蔵文化財センター 専門学芸員 堀 内 大 介
7	9・22 (金)	富山平野の古墳群 —白岩川流域古墳群など—	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 鹿 島 昌 也
8	10・6 (金)	呉羽丘陵の横穴墓	市埋蔵文化財センター 主査学芸員 野 垣 好 史
9	10・20 (金)	中世のお墓 —堀 I 遺跡など—	市埋蔵文化財センター 専門学芸員 堀 内 大 介
10	11・10 (金)	富山藩主前田家墓所 —長岡御廟—	市埋蔵文化財センター 主査学芸員 野 垣 好 史

106 富山の民話

会 場 市民学習センター4階 講義室2ほか

時 間 13:30~15:30

講 師 奥 井 悦 子 (全国童話人協会委員・とやま語りの会代表)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・18 (木)	富山県の民話 (1) —富山市・滑川市—
2	6・1 (木)	富山県の民話 (2) —魚津市・黒部市—
3	6・15 (木)	富山県の民話 (3) —立山町・上市町・舟橋村—
4	7・6 (木)	富山県の民話 (4) —入善町・朝日町—
5	7・20 (木)	富山県の民話 (5) —高岡市・射水市—
6	9・7 (木)	富山県の民話 (6) —氷見市・砺波市—
7	9・21 (木)	富山県の民話 (7) —小矢部市・南砺市—
8	10・5 (木)	日本の民話と富山の民話
9	10・21 (土)	【現地学習】 「いろりを囲むおはなし」見学 (会場:富山市民俗民芸村 民芸合掌館)
10	11・2 (木)	ま と め

*例年、大学祭でステージ発表を行っています。

107 日本の歴史

会 場 市民学習センター4階 講義室1

時 間 13:30～15:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・17 (水)	先史・古代の勾玉の 起源と展開	敬和学園大学 人文社会科学研究所 客員研究員 藤田 富士夫
2	5・31 (水)	『出雲国風土記』の 「国引き神話」をめぐって	
3	6・14 (水)	室町幕府と室町殿 —四人の室町殿を中心に—	富山県公文書館 史料調査専門員 高 森 邦 男
4	6・28 (水)	立山山麓の戦国史	とやま歴史的 環境づくり研究会 代表 高 岡 徹
5	7・12 (水)	越飛国境地帯の戦国史	
6	8・30 (水)	日明貿易と「日本国王」	金沢学院大学 文学部 教授 本 多 俊 彦
7	9・27 (水)	戦国～江戸時代の村と 百姓	富山大学学術研究部 教育学系 准教授 中 村 只 吾
8	10・11 (水)	江戸時代の自然災害と 対応	富山県立小杉高等学校 副校長 高 野 靖 彦
9	10・25 (水)	富山県の明治維新	富山近代史研究会 会長 城 岡 朋 洋
10	11・8 (水)	明治人の精神と近代化	

108 世界の歴史

会 場 市民学習センター4階 講義室1

時 間 13:30～15:30

講 師 徳 橋 曜 (富山大学学術研究部教育学系教授)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・15 (月)	「古代」と「中世」
2	5・29 (月)	イスラーム世界の形成
3	6・12 (月)	13世紀のユーラシア
4	6・26 (月)	宗教改革と世界1
5	7・10 (月)	宗教改革と世界2
6	9・4 (月)	「近代世界」の形成1
7	9・25 (月)	「近代世界」の形成2
8	10・16 (月)	国民国家の「創造」と「想像」
9	10・30 (月)	二つの大戦
10	11・13 (月)	戦後世界の変遷

109 中国史に学ぶ「近世中国の訴訟社会」

会 場 市民学習センター4階 講義室1
 時 間 13:30～15:30
 講 師 徳永洋介 (富山大学学術研究部人文科学系教授)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・11 (木)	人治か法治か —教化としての裁き—
2	5・25 (木)	法と慣例 —制定法と社会慣行—
3	6・8 (木)	犯罪と刑罰Ⅰ —近世中国の刑罰制度—
4	6・22 (木)	犯罪と刑罰Ⅱ —州県自理—
5	7・13 (木)	犯罪と刑罰Ⅲ —命盗重案—
6	9・14 (木)	紛争と裁判Ⅰ —冤抑と伸冤—
7	9・28 (木)	紛争と裁判Ⅱ —打官司の諸相—
8	10・12 (木)	紛争と裁判Ⅲ —教論的調停—
9	10・26 (木)	法と道徳 —官の秩序と民の規範—
10	11・9 (木)	再び人治か法治か —旧中国の法と新中国の法—

110 生活文化の歴史(食・住の文化史)

会 場 市民学習センター4階 講義室2
 時 間 13:30～15:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・11 (木)	食の文化論Ⅲ	越中史壇会 副会長 木本秀樹
2	5・25 (木)	呉西地区(福光地方)の 食文化	富山民俗の会 幹事 加藤享子
3	6・8 (木)	古代の食文化Ⅲ	越中史壇会 副会長 木本秀樹
4	6・22 (木)	郷土の食 —鮭・よごし・神膳など—	富山民俗の会 代表 森 俊
5	7・13 (木)	マス鮭やアユ鮭などにみる 富山の川魚の食文化	富山県水産研究所 所長 田子泰彦
6	9・14 (木)	住の文化論Ⅱ	レトロフィット代表・ 早稲田大学理工総研 研究員 森本英裕
7	9・28 (木)	すまいとまじない	市埋蔵文化財センター 所長 堀沢祐一
8	10・12 (木)	くらしから変わる住まい —みんなの知ってる アノ家、コノ家—	市郷土博物館 主幹学芸員 中本八穂
9	10・26 (木)	北陸・富山の町家と民家	金沢工業大学 建築学科 教授 山崎幹泰
10	11・9 (木)	和室の歴史 —近世・近代・現代—	レトロフィット代表・ 早稲田大学理工総研 研究員 森本英裕

111 歴史史料をひもとく

会 場 市民学習センター4階 講義室2ほか
時 間 13:30～15:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	4・24 (月)	近世史料をよむ －武士を育てる学校 広徳館－ (「前田文書」より)	富山県公文書館 史料調査専門員 認証アーキビスト 榮 夏代
2	5・15 (月)	近世史料をよむ －越中の絹 今昔－ (「西川文書」など)	
3	5・29 (月)	近世史料をよむ －江戸時代の子供－ (「内山文書」など)	
4	6・19 (月)	中世史料をよむ －王朝の年中行事・学び－ (「禁秘抄」など)	市民俗民芸村 学芸員 兼 子 心
5	7・3 (月)	中世史料をよむ －武者の姿 使われ続ける 武具由来のことば－ (「吾妻鏡」など)	
6	7・24 (月)	中世史料をよむ －諸国特産物と流通－ (「庭訓往来」など)	
7	9・4 (月)	古代史料をよむ －学生教育・子弟の教養－ (「口遊」など)	越中央壇会副会長 木簡学会員 木 本 秀 樹
8	9・25 (月)	古代史料をよむ －今に生きる律令－ (「令義解」など)	
9	10・16 (月)	【現地学習】 小泉八雲関係資料の 見学・閲覧 (会場：高志の国文学館)	木 本 秀 樹 榮 夏代 兼 子 心
10	11・6 (月)	古代史料をよむ －現行地名の成り立ち－ (「風土記」など)	越中央壇会副会長 木簡学会員 木 本 秀 樹

*参考図書(必要な方は購読してください。)

『詳説 日本史史料集 再訂版』(山川出版社) 723円(税込)

112 古典歌謡への旅

会 場 市民学習センター4階 講義室2
時 間 13:30～15:30
講 師 武部弥十武 (富山工業高等専門学校元教授)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・16 (火)	閑吟集から(1)
2	5・30 (火)	閑吟集から(2)
3	6・13 (火)	閑吟集から(3)
4	6・27 (火)	宗安小歌集・隆達節歌謡から(1)
5	7・11 (火)	宗安小歌集・隆達節歌謡から(2)
6	9・12 (火)	宗安小歌集・隆達節歌謡から(3)
7	9・26 (火)	田植草子・松の葉などから(1)
8	10・10 (火)	田植草子・松の葉などから(2)
9	10・24 (火)	古事記・日本書紀から
10	11・7 (火)	りょうじん ひしょう 梁塵秘抄から

*参考図書(必要な方は購読してください。)

『新訂 閑吟集』浅野建二校注(岩波文庫)

113 おくのほそ道をよむ

会 場 市民学習センター4階 講義室2
 時 間 9:30～11:30
 講 師 大西紀夫 (富山短期大学名誉教授)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・17 (水)	発端 — 日光
2	5・31 (水)	那須野 — 殺生石・遊行柳
3	6・14 (水)	白河 — 笠島
4	6・28 (水)	岩沼 — <small>しおがま</small> 塩竈
5	7・12 (水)	松島 — 平泉
6	9・13 (水)	尿前・山刀伐峠 — 出羽三山
7	9・27 (水)	象潟 — 越後路
8	10・11 (水)	市振 — 金沢・小松
9	10・25 (水)	那谷 — 吉崎・天竜寺・永平寺
10	11・8 (水)	福井 — 大垣

114 漢詩漢文の世界へ

会 場 市民学習センター4階 講義室2
 時 間 9:30～11:30
 講 師 高倉知成 (県立富山高等学校元副校長)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・10 (水)	I 漢文の読み方・句法
2	5・24 (水)	II 漢詩(1) 自然・四季
3	6・7 (水)	II 漢詩(2) 探美・広漠
4	6・21 (水)	II 漢詩(3) 自適・無常
5	7・5 (水)	II 漢詩(4) 日本の漢詩
6	9・6 (水)	III 語録・名言選
7	9・20 (水)	IV 故事・寓話
8	10・4 (水)	V 思想(1) 列子、韓非子 等
9	10・18 (水)	V 思想(2) 論語
10	11・1 (水)	V 思想(3) 論語

*テキストは、各自購入してください。
 久富哲雄著『写真で歩く奥の細道』(三省堂) 1,650円(税込)

115 古文入門～古文の世界に息づく人々～

会 場 市民学習センター4階 講義室2
 時 間 9:30～11:30
 講 師 沢井友義 (富山短期大学非常勤講師)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・9 (火)	物語の祖 (おや) 竹取物語の世界
2	5・23 (火)	男女の情をつなぐ和歌 伊勢物語1
3	6・6 (火)	男女の情をつなぐ和歌 伊勢物語2
4	6・20 (火)	落ちくぼんだ部屋の姫君 落窪物語1
5	7・4 (火)	落ちくぼんだ部屋の姫君 落窪物語2
6	9・5 (火)	平安王朝の世界を垣間見る 源氏物語1
7	9・19 (火)	平安王朝の世界を垣間見る 源氏物語2
8	10・3 (火)	平安王朝の世界を垣間見る 源氏物語3
9	10・17 (火)	紫式部の人となり 紫式部日記など
10	11・7 (火)	ま と め

116 江戸時代の文学を読む

会 場 市民学習センター4階 講義室2
 時 間 13:30～15:30
 講 師 奥野美友紀 (富山県立大学非常勤講師)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・10 (水)	はじめに —近世(江戸時代)の文学 上田秋成『雨月物語』序
2	6・7 (水)	上田秋成『雨月物語』巻一 「白峰」
3	6・21 (水)	上田秋成『雨月物語』巻一 「菊花の約」
4	7・5 (水)	上田秋成『雨月物語』巻二 「浅茅が宿」
5	7・19 (水)	上田秋成『雨月物語』巻二 「夢応の鯉魚」
6	9・6 (水)	上田秋成『雨月物語』巻三 「吉備津の釜」他
7	9・20 (水)	上田秋成『雨月物語』巻四 「蛇性の姪」
8	10・4 (水)	映像で観る近世文学
9	10・18 (水)	上田秋成『雨月物語』巻五 「青頭巾」
10	11・1 (水)	上田秋成『雨月物語』巻五 「貧福論」 まとめ

*テキストは、各自購入してください。

上田秋成著 高田衛・稲田篤信校注

『雨月物語』(ちくま学芸文庫) 1,540円(税込)

117 暮らしを彩る短歌の楽しみ

会場 市民学習センター4階 講義室2
 時間 9:30~11:30
 講師 木下 晶 (WEBSITEとやまの詩歌主掌)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・26 (金)	・年間方針／共感シートと対話 ・短歌創作の楽しさ、共感の楽しさ
2	6・9 (金)	・春の事物や想いをよむ ・和歌から現代短歌まで 歴史早わかり
3	6・23 (金)	・「歌会始め」を楽しむ ・心の動きを五感でとらえ表現する
4	7・7 (金)	・初夏の事物や想いをよむ ・口語と文語 それぞれの良さ
5	7・21 (金)	・夏の事物と想いをよむ ・句切れと句またがり
6	9・8 (金)	・祭りの周辺と想いをよむ ・推敲の方法あれこれ
7	9・29 (金)	・秋の事物と想いをよむ ・オノマトペとリフレイン
8	10・13 (金)	・秋の事物と想いをよむ ・体現止め・対句表現
9	10・27 (金)	・通期の作品のまとめ ・セミナー冊子づくりの準備
10	11・10 (金)	・セミナー作品を一冊にまとめる ・グループ対話し共感を広げる

*受講者同士で、感想などを語り合う時間を設けます。

118 俳句入門

会場 市民学習センター4階 講義室2
 時間 13:30~15:30
 講師 森川 敬三 (富山県現代俳句協会事務局長)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	4・26 (水)	今年度の方針と流れ 私の俳句観 俳句の基礎・基本 句会の心得
2	5・31 (水)	句会(1) 当季雑詠 俳句の歴史
3	6・28 (水)	句会(2) 当季雑詠 季語とその本意・本情
4	7・12 (水)	句会(3) 当季雑詠 五・七・五と無理のない字余り・ 字足らず
5	7・26 (水)	句会(4) 当季雑詠 切れの在り処と切れの効用 推敲の仕方
6	8・23 (水)	句会(5) 当季雑詠 俳句の読解・鑑賞と評価 兼題句の作り方
7	9・13 (水)	句会(6) 当季雑詠(内1句は兼題句) 作句のコツ 吟行における作句
8	9・27 (水)	句会(7) (吟行句会) 会場近傍の吟行
9	10・11 (水)	句会(8) 当季雑詠(内1句は兼題句) 俳句の種類・自分に合った俳句
10	11・8 (水)	句会(9) 当季雑詠(内1句は兼題句) 学び続けるために

*原則、事前投句とします。(投句方法は、初回に説明します。)

119 川柳を楽しむ

会 場 市民学習センター4階 講義室2
 時 間 13:30～15:30
 講 師 竹内 勤子 (川柳えんぴつ誌編集長・カラット代表)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・8 (月)	川柳の基本／震災を詠んだ三句／ 川柳を詠む／音字の数え方
2	5・22 (月)	テーマのを見つけ方／表現法／ 名句鑑賞／近詠を詠んでみる／ みんなの作品鑑賞
3	6・12 (月)	古川柳から／三句鑑賞／ 課題を詠む／互選を試みる
4	6・26 (月)	富山の川柳作家の作品から／ 身近なテーマを詠む／課題吟互選／選評
5	7・10 (月)	現代川柳の作家／ 字結びに挑戦／名句鑑賞／互選／選評
6	8・28 (月)	今までの作品から／印象吟に挑戦
7	9・11 (月)	課題吟／過去の富山の大会から／互選
8	10・2 (月)	一 句 鑑 賞
9	10・23 (月)	時事川柳／今年のニュースから詠む
10	11・13 (月)	漢字からの印象吟

120 文学へのいざない

会 場 市民学習センター4階 講義室2
 時 間 13:30～15:30
 講 師 吉田 泉 (富山県芸術文化協会名誉会長)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・12 (金)	北日本文学賞選奨作品 「渦の底から」
2	5・26 (金)	川端康成 「愛する人達」(新潮文庫)
3	6・16 (金)	井上靖 「猟銃・闘牛」(新潮文庫)
4	6・30 (金)	原田マハ 「モダン」(文春文庫)
5	7・14 (金)	田山花袋 「蒲団・一兵卒」(岩波文庫)
6	9・8 (金)	トオマス・マン 「ヴェニスに死す」(岩波文庫)
7	9・22 (金)	百田尚樹 「輝く夜」(講談社文庫)
8	10・6 (金)	中上健次 「水の女」(講談社文庫)
9	10・20 (金)	水上勉 「雁の寺・越前竹人形」(新潮文庫)
10	11・10 (金)	モーパッサン 「脂肪のかたまり」(岩波文庫)

*テキストとしてその都度、必要な書籍を購読してください。

121 落語のはなし

会場 市民プラザ南側4階 アンサンブルホール
 時間 9:30~11:30
 講師 三遊亭良楽 (落語家)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・26 (金)	落語実演(1)
2	6・9 (金)	落語よもやまばなし その1
3	6・23 (金)	落語よもやまばなし その2
4	7・7 (金)	落語よもやまばなし その3
5	7・21 (金)	落語実演(2)
6	9・8 (金)	落語よもやまばなし その4
7	9・22 (金)	落語よもやまばなし その5
8	10・6 (金)	落語よもやまばなし その6
9	10・13 (金)	落語よもやまばなし その7
10	11・17 (金)	落語実演(3)

*予告なく学習題が変更になることがあります。

122 日本の歌、世界の歌

会場 市民学習センター4階 講義室1ほか
 時間 9:30~11:30
 講師 宮原麻子 (音楽プロデューサー)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・11 (木)	日本の歌 その1 唱歌、童謡の歴史(1)
2	5・25 (木)	日本の歌 その2 唱歌、童謡の歴史(2)
3	6・8 (木)	日本の歌 その3 言葉を持つ音楽~詩とメロディ
4	6・22 (木)	日本の歌 その4 日本の音階~民謡とJポップ
5	7・13 (木)	【公開講座】 日本の歌 その5 叙情歌・歌曲、名曲あれこれ (会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール)
6	9・7 (木)	世界の歌 その1 中世・ルネッサンスの歌
7	9・21 (木)	世界の歌 その2 歌曲(1)
8	10・5 (木)	世界の歌 その3 歌曲(2)
9	10・19 (木)	世界の歌 その4 華麗なるオペラの世界
10	11・2 (木)	【公開講座】 世界の歌 その5 世界の名歌・愛唱歌 (会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール)

*アシスタント:堀江季理子(メゾ・ソプラノ)
 中川歩美(ピアノ)

123 音楽サロン

会場 市民学習センター4階 講義室1ほか
 時間 13:30～15:30
 講師 松本明子 (声楽家)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	4・25 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(1) —歌、器楽、管弦楽鑑賞—
2	5・23 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(2) —歌、器楽、管弦楽鑑賞—
3	6・6 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(3) —歌、器楽、管弦楽鑑賞—
4	6・20 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(4) —歌、器楽、管弦楽鑑賞—
5	7・4 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(5) —歌、器楽、管弦楽鑑賞—
6	9・5 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(6) —歌、器楽、管弦楽鑑賞—
7	9・19 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(7) —歌、器楽、管弦楽鑑賞—
8	10・3 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(8) —歌、器楽、管弦楽鑑賞— 演奏：松本 明子 ほか (会場：市民プラザ南側4階アンサンブルホール)
9	10・17 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(9) —歌、器楽、管弦楽鑑賞—
10	11・14 (火)	18～20世紀、欧米の音楽(10) —歌、器楽、管弦楽鑑賞—

124 世界の国々

会場 市民学習センター4階 講義室1
 時間 13:30～15:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・19 (金)	ベトナムってどんな国？	富山県国際交流員 グエン・ティ・タオ
2	6・2 (金)	アメリカの文化 ：移民と多様性の国	富山県国際交流員 リース・アリス
3	6・16 (金)	韓国、どこまで知ってる？	富山県国際交流員 李 該 敏
4	7・7 (金)	古代と現代の日印関係	富山県国際交流員 バーガワトゥラ・ シリラリティヤ
5	7・28 (金)	No Kangaroos in Austria (オーストリアには カンガルーはいません)	市立豊田小学校 教諭 高 麗 智 大
6	8・18 (金)	地球の裏側 ブラジルにある もうひとつの「富山」	市立岩瀬中学校 教諭 中村健太郎
7	9・29 (金)	知っているようで 知らないロシア	金沢大学・ 富山県立伏木高等学校 非常勤講師 ボンダレンコ・ オクサナ
8	10・13 (金)	中国事情	富山市民国際交流協会 事務局員 銭 輝
9	10・27 (金)	ネパールと日本 独自の目線で見た新たな世界	富山ネパール文化交流協会 会長 ダルマ・ラマ
10	11・17 (金)	アフリカの歴史から学ぶ —アフリカと日本のつながり—	東京大学大学院 総合文化研究科 (学院生) 大平和希子

125 美術の世界

会場 市民学習センター4階 講義室1ほか

時間 13:30～15:30

回数	月・日 (曜)	学習題	講師
1	5・9 (火)	室町～江戸時代の絵画 －狩野派、琳派を中心に－	富山大学学術研究部 芸術文化学系 准教授 三宮千佳
2	5・16 (火)	【現地学習】 生誕120年 棟方志功展 (会場：富山県美術館)	富山県美術館 主任 遠藤亮平
3	5・30 (火)	【現地学習】 アナザーワールド展 (会場：富山市ガラス美術館)	市ガラス美術館 主任学芸員 渡部名祐子 浅田真帆 学芸員 米田結華
4	6・13 (火)	【現地学習】 花のお江戸ライフ －浮世絵にみる江戸っ子スタイル (会場：富山県水墨美術館)	富山県水墨美術館 学芸員 金山 諤
5	7・11 (火)	影絵から広がる世界	影絵師 ジャック・ランドル
6	7・25 (火)	【現地学習】 生誕150年記念 川合玉堂展 (会場：富山県水墨美術館)	富山県水墨美術館 副主幹 丸山多美子
7	9・12 (火)	【現地学習】 大竹伸朗展 (会場：富山県美術館)	富山県美術館 学芸員 内藤和音
8	9・26 (火)	【現地学習】 (仮)日本近現代ガラス展 (会場：富山市ガラス美術館)	市ガラス美術館 主任学芸員 中島春香 学芸員 高橋由佳
9	10・24 (火)	【現地学習】 (仮)富山ゆかりの工芸品・美術品 (会場：富山市佐藤記念美術館) ※富山市郷土博物館自由見学	市佐藤記念美術館 主査学芸員 中川靖子
10	11・7 (火)	朝鮮半島の仏教美術 －三国時代(高句麗・百済・ 新羅)を中心に－	富山大学学術研究部 芸術文化学系 准教授 三宮千佳

*【現地学習】は現地集合・現地解散となり、観覧料が必要です。

*美術館等の事情により、観覧前の座学での講義や観覧中の
ギャラリートークができない場合があります。

126 生活医学薬学を学ぶ

会場 市民学習センター4階 講義室1ほか

時間 9:30～11:30

回数	月・日 (曜)	学習題	講師
1	5・19 (金)	漢方医学の基本的な考え方	富山大学 和漢医薬学総合研究所 教授 柴原直利
2	6・2 (金)	和漢薬の飲み方、効かせ方	富山大学 附属病院薬剤部 教授 加藤 敦
3	6・16 (金)	くすり・毒になる天然の成分	富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授 當銘一文
4	7・7 (金)	あぶらを選んで健やかに 生きる	富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授 渡辺志朗
5	7・21 (金)	感染症の漢方治療	富山大学 和漢医薬学総合研究所 教授 柴原直利
6	9・1 (金)	健康寿命延長と和漢薬	富山大学 和漢医薬学総合研究所 教授 東田千尋
7	9・15 (金)	がんと和漢薬	富山大学 和漢医薬学総合研究所 教授 早川芳弘
8	9・29 (金)	和漢薬は目覚まし時計 ：さぼっている生体機能を 生薬チームが呼び覚ます！	富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授 東田道久
9	10・13 (金)	1. 数学で「未病」状態を 見つける 2. 漢方薬はナノ医薬品	富山大学 和漢医薬学総合研究所 教授 小泉桂一
10	10・27 (金)	【現地学習】 (会場：富山大学 和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館)	富山大学 名誉教授 小松かつ子

127 健康生活の知恵

会 場 市民学習センター4階 講義室1

時 間 13:30~15:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・12 (金)	薬膳 —医食同源から見た食事—	富山大学 名誉教授 鏡 森 定 信
2	5・26 (金)	人生100年時代の ウェルビーイング —価値ある幸福を目指して—	富山大学学術研究部 医学系 助教 立 瀬 剛 志
3	6・9 (金)	免疫力の向上に関わる 農産物の生産	富山県深層水協議会 顧問 菫 田 隆 治
4	6・23 (金)	食と薬とのつきあい方 —健康的に暮らすために—	富山短期大学 食物栄養学科 准教授 藤 田 恭 輔
5	7・14 (金)	健康に長生きするための 生活習慣	富山大学学術研究部 教育学系 准教授 藤 本 孝 子
6	9・8 (金)	健康と食生活の関わり —よりよく生きるために—	富山大学 名誉教授 神 川 康 子
7	9・22 (金)	世界ワーストの富山の 睡眠満足度を改善する試み	富山大学 名誉教授 神 川 康 子
8	10・6 (金)	自分に合う睡眠・生活習慣の 改善方法を見つけて心身の健康 と生活の質(QOL)をUP!	富山大学 名誉教授 鏡 森 定 信
9	10・20 (金)	健康寿命を延ばす食事	管理栄養士 新 村 典 子
10	11・10 (金)	温泉 —内外の特徴ある温泉とその効用—	富山大学 名誉教授 鏡 森 定 信

128 楽しい脳トレーニング

会 場 市民学習センター4階 講義室1

時 間 9:30~11:30

講 師 田 淵 英 一 (秀愛会・あゆみの郷 施設長)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・16 (火)	生命誕生と脳トレーニング誕生の話 +脳トレーニング
2	5・30 (火)	認知症とボケ +脳トレーニング
3	6・13 (火)	人間の脳と身体のしくみ +脳トレーニング
4	6・27 (火)	脳の働きを担うニューロン +脳トレーニング
5	7・11 (火)	食育：からだによい食べ物と食べ方 +脳トレーニング
6	9・12 (火)	感覚および運動のしくみ +脳トレーニング
7	9・26 (火)	感情のしくみ +脳トレーニング
8	10・10 (火)	記憶と思考のしくみ +脳トレーニング
9	10・24 (火)	精神・こころのしくみ +脳トレーニング
10	11・7 (火)	幸せな人生を送るために +脳トレーニング

*テキストについては未定です。

*参考図書(必要な方は購読してください。)

『ボケないための脳トレーニングドリル』(PHP 研究所) 950 円(税別)

『楽しくチャレンジ 脳を鍛える ドリル&おもしろ解説』(北國新聞社) 950 円(税別)

129 豊かな心

会場 市民プラザ南側4階 アンサンブルホール
 時間 9:30~11:30
 講師 永田 円了 (富山国際大学元教授)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・18 (木)	第三のみち
2	6・1 (木)	運と実力
3	6・15 (木)	表舞台と舞台裏
4	6・29 (木)	こころの初期化
5	7・20 (木)	ど真ん中を生きる
6	9・7 (木)	うつと笑い
7	9・21 (木)	複眼力
8	10・19 (木)	関ヶ原・義と利
9	10・26 (木)	書 く
10	11・9 (木)	こころの大掃除

130 リズム体操

会場 市民プラザ2階 アトリウム
 時間 13:30~15:30
 講師 田中 裕子 (体操インストラクター)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・9 (火)	◇身体ほぐし体操 ・ やさしい呼吸法 ・ ハンドマッサージ ・ 体と対話しながら行う体操
2	5・16 (火)	
3	5・23 (火)	
4	6・6 (火)	◇リズム体操 ・ バランスのとれた全身運動 ・ 血行促進 ・ 若さと健康保持
5	6・13 (火)	
6	6・20 (火)	
7	7・4 (火)	◇美容と健康のための体づくり ・ 肩こり、腰痛、ひざの痛み予防 ・ 全身のシェイプアップ
8	7・11 (火)	
9	9・26 (火)	◇クールダウン ・ 柔軟性を高める体操 ・ ゆったりストレッチング
10	10・10 (火)	
11	10・17 (火)	
12	10・24 (火)	
13	11・7 (火)	
14	11・14 (火)	
15	11・21 (火)	

*毎回、運動のできる服装・靴で受講してください。
 *ストレッチの際、床に座りますので、必要な方は敷く物(バスタオルなど)を準備してください。
 *熱中症対策に、飲み物をお持ちください。(必要な方は着替えも)
 *例年、大学祭でステージ発表を行っています。

131 100歳まで歩こう

会 場 市民プラザ2階 アトリウム

時 間 13:30~15:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・17 (水)		
2	5・31 (水)	●ストレッチングで 心も体もしなやかに!	日本スポーツ協会公認 スポーツ指導員 辰尾 妙子
3	6・14 (水)	・のんびり、ゆったり 心と体を軽やかに ・健やかな毎日を過ごす ための体力づくり	
4	6・28 (水)	・穏やかな毎日を過ごす ための心づくり	
5	7・12 (水)		
6	9・6 (水)	ノルディック・ウォーク の起源・効果・効能	
7	10・4 (水)	ノルディック・ウォーク の歩行解析	
8	10・11 (水)	生活習慣病と ロコモティブシンドローム	
9	10・25 (水)	ノルディック・ウォーク & ノルディック・エクササイズ	
10	11・8 (水)		

132 暮らしの実学

会 場 市民学習センター4階 講義室1

時 間 13:30~15:30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・10 (水)	人生100年時代の 健康づくり	角川介護予防センター 健康運動指導士 沖 直哉
2	5・24 (水)	50歳から始める 整理収納と部屋活	整理収納アドバイザー 浮田美紀子
3	6・7 (水)	物・心・情報を整える あったかい生前整理	
4	6・21 (水)	相続の基礎① ー法改正を知って 最後まで私らしくー	高岡法科大学 専任講師 後藤 亜季
5	7・5 (水)	相続の基礎② ー法改正を知って 最後まで私らしくー	
6	9・6 (水)	金融取引の基礎知識と 金融トラブル	富山財務事務所 理財課調査官 川尻 卓也
7	9・20 (水)	安心・安全な暮らしと防犯	高岡法科大学 専任講師 隅田 勝彦
8	10・4 (水)	暮らしに図書館を ー便利な図書館活用術ー	市図書館 主任司書 工藤 崇人
9	10・18 (水)	消費者トラブルと その対処法	金融広報アドバイザー (消費生活専門相談員) 古村理栄子
10	11・1 (水)	セカンドライフと 生命保険	(公財)生命保険 文化センター 生活情報室 専任講師 山口 良司

*毎回、運動のできる服装・靴で受講してください。

(ジーンズ着用での受講は、ご遠慮ください。)

*第1~第5回は、バスタオル、フェイスタオルをお持ちください。

*第6~第10回は、屋外を歩きます。貴重品を身に付けられるカバン
や、帽子、タオル等必要なものを各自準備してください。

*熱中症対策に、飲み物をお持ちください。(必要な方は着替えも。)

133 楽しい法律

会 場 市民学習センター4階 講義室1ほか
 時 間 13:30～15:30
 講 師 木 下 実 (弁護士)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・13 (土)	家族と法律Ⅰ ー夫婦ー
2	6・10 (土)	家族と法律Ⅱ ー親子ー
3	6・24 (土)	家族と法律Ⅲ ー相続ー
4	7・8 (土)	社会生活と法律Ⅰ ー事故・災害ー
5	7・22 (土)	社会生活と法律Ⅱ ー仕事ー
6	9・9 (土)	財産と法律Ⅰ ー契約ー
7	9・30 (土)	財産と法律Ⅱ ー不動産ー
8	10・14 (土)	財産と法律Ⅲ ー金銭貸借ー
9	未定	犯罪と法律Ⅰ ー刑事裁判傍聴ー (日程は事前にお知らせします。)
10	11・4 (土)	犯罪と法律Ⅱ ー犯罪ー

*第9回の裁判傍聴は2回実施しますので、うち1回を受講できます。なお、裁判所の都合により平日に実施します。(実施時期は未定です。)

134 郷土の料理

会 場 市民学習センター3階 調理室
 時 間 9:30～12:00
 講 師 新 村 典 子 (管理栄養士)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	4・25 (火)	旬の春野菜を使ったふるさと料理
2	5・9 (火)	山菜を使ったふるさと料理
3	5・23 (火)	春の富山湾の料理
4	6・13 (火)	夏を元気に過ごすための料理
5	7・4 (火)	味わってみようお盆料理
6	9・12 (火)	身近な素材で秋の料理
7	10・3 (火)	秋の実りを食卓へ
8	10・24 (火)	伝えておきたい郷土料理
9	11・14 (火)	おばあちゃんの味を大切に
10	12・12 (火)	郷土のお正月料理

*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)
 ・持ち帰り容器・保冷バッグ・保冷剤を持参してください。
 *初回に材料費(10回分:10,000円)を収集します。
 *材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。
 *やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

135 家庭でできる『やくぜん料理』

会 場 市民学習センター3階 調理室
 時 間 9:30~12:00
 講 師 新村典子 (管理栄養士)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・16 (火)	和食は世界で注目される健康食
2	6・6 (火)	春から夏への食事
3	6・27 (火)	夏バテ予防の食事
4	7・11 (火)	疲労回復のための食事
5	9・5 (火)	美容・美肌のための食事
6	9・26 (火)	胃腸にやさしい食事
7	10・10 (火)	老化防止のための食事
8	11・7 (火)	秋から冬への食事

*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)
 ・持ち帰り容器・保冷バッグ・保冷剤を持参してください。
 *初回に材料費(8回分:8,000円)を集金します。
 *材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。
 *やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

136 季節の和菓子づくり

会 場 市民学習センター3階 調理室
 時 間 10:00~12:00
 講 師 清水祥子 (お菓子教室ももほのか主宰)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	4・27 (木)	鯛焼き(粒あん)
2	5・18 (木)	あんの花(こしあん)
3	6・8 (木)	カステラ
4	7・6 (木)	天の川ようかん
5	9・7 (木)	抹茶ゼリイ
6	9・21 (木)	月 餅
7	10・5 (木)	からいももち
8	10・19 (木)	栗蒸しようかん
9	11・2 (木)	どら焼き
10	11・16 (木)	針歳暮の大福

*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)
 ・持ち帰り容器を持参してください。
 *初回に材料費(10回分:15,000円)を集金します。
 *材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。
 *やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

137 スイーツでO・MO・TE・NA・SHI

会 場 市民学習センター3階 調理室

時 間 10:00～12:00

講 師 清水祥子 (お菓子教室ももほのか主宰)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・11 (木)	苺のオムレット
2	5・25 (木)	パリブレスト
3	6・15 (木)	さくらんぼクラフティ
4	6・29 (木)	シフォンケーキ
5	7・13 (木)	杏のチーズケーキ
6	9・14 (木)	呉羽梨のジュレ
7	9・28 (木)	クグロフ
8	10・12 (木)	モンブラン
9	10・26 (木)	エンガディナヌストルテ
10	11・9 (木)	アフタヌーンティーのお菓子



*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)・持ち帰り容器を持参してください。

*初回に材料費(10回分:15,000円)を集金します。

*材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。

*やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

(2) 創作

201 洋画

会場 市民学習センター3階 アトリエ
 時間 10:00~12:00
 講師 古田 恵子 (富山県洋画連盟会員・富山市洋画作家連盟会員)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・13 (土)	絵を描きながら日々の発見をする楽しさ
2	5・27 (土)	《鉛筆で素描》 伸びやかな線を描く
3	6・3 (土)	《静物》
4	6・17 (土)	・ものの形を捉える ・空間とモチーフの関係性
5	6・24 (土)	・主題を探求する
6	7・15 (土)	《人物デッサン(コスチューム)》
7	7・22 (土)	・主役(人物)と脇役(空間と光) ・誰もが見慣れている、人体が持つ表情の発見
8	7・29 (土)	
9	8・26 (土)	《風景》
10	9・2 (土)	・遠近感 消失点をイメージする ・風景の中の大きな流れを発見する
11	9・16 (土)	・自身が捉えたもの、着目したもの
12	10・7 (土)	《自由課題》
13	10・21 (土)	・自身が惹かれるテーマを表現する ・主体となるのは自分
14	11・4 (土)	
15	11・18 (土)	作品鑑賞会

*初回、画材の販売があります。(油彩用一式 29,500円程度)
 お手持ちの画材があればご使用ください。
 *油彩を中心に水彩も可です。

202 日本画

会場 市民学習センター3階 アトリエ
 時間 13:30~15:30
 講師 大島 麻美 (日展会友・市日本画作家連盟委員長)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・12 (金)	画材等の説明 鉛筆デッサン(花など)
2	5・19 (金)	鉛筆デッサン(ガラス類)
3	6・9 (金)	デッサン(野菜、果物、花等) 鉛筆デッサン + 顔彩着色
4	6・16 (金)	デッサン(干物等) 鉛筆デッサン + 顔彩着色
5	6・30 (金)	作品の為のデッサン 下図制作
6	7・14 (金)	下図トレース 下図着色
7	7・28 (金)	作品の下地作り(胡粉のとき方)
8	8・18 (金)	作品の下塗り (背景の色等水干絵具で着色)
9	8・25 (金)	
10	9・1 (金)	
11	9・15 (金)	作品制作・彩色
12	9・29 (金)	
13	10・6 (金)	
14	10・20 (金)	
15	11・10 (金)	作品完成 作品講評

*初回は、スケッチブック(6号か8号程度)、鉛筆(HB~4B)、消しゴム、花などデッサンする物を持参してください。
 *初回、画材の販売があります。(初心者 15,000円程度~)

203 版 画

会 場 市民学習センター3階 アトリエ
 時 間 9:30~11:30
 講 師 矢部美子 (版画芸術院会員)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・12 (金)	木版画 基本彫りⅠ 下絵写し、彫り
2	5・19 (金)	木版画 基本彫りⅠ 彫り、摺り
3	6・2 (金)	木版画 基本彫りⅡ 下絵写し、彫り
4	6・16 (金)	木版画 基本彫りⅡ 彫り、摺り
5	6・30 (金)	木版画 下絵
6	7・14 (金)	
7	7・21 (金)	
8	9・1 (金)	木版画 彫り
9	9・15 (金)	
10	9・29 (金)	
11	10・6 (金)	木版画 試し摺り
12	10・20 (金)	木版画 本摺り
13	10・27 (金)	挨拶状 下絵
14	11・10 (金)	挨拶状 彫り
15	11・17 (金)	挨拶状 試し摺り

*初回、画材の販売があります。(用具一式 8,000円程度)
 *墨汁を使いますのでエプロン、ぞうきん(古タオル)を持参してください。

204 切 り 絵

会 場 市民学習センター3階 アトリエ
 時 間 13:30~15:30
 講 師 岩田長峯 (切り絵作家)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・8 (月)	初めての切り絵Ⅰ (カッティング等)
2	5・22 (月)	初めての切り絵Ⅱ (コピー小品)
3	6・5 (月)	基本編Ⅰ (大小と単複)
4	6・19 (月)	基本編Ⅱ (構成と下絵)
5	7・3 (月)	実技編Ⅰ (夏野菜)
6	7・24 (月)	実技編Ⅱ (夏野菜)
7	7・31 (月)	実技編Ⅲ (うちわ製作)
8	8・28 (月)	切り絵パステルⅠ (使い方)
9	9・11 (月)	切り絵パステルⅡ (ハガキサイズ)
10	9・25 (月)	切り絵パステルⅢ (人形・置物の準備)
11	10・2 (月)	オリジナル作品Ⅰ (人形・置物)
12	10・16 (月)	オリジナル作品Ⅱ (人形・置物)
13	10・23 (月)	大学祭出品作品のまとめ
14	11・6 (月)	作品仕上げ(糊づけ)・選評
15	11・13 (月)	カラー切り絵について・総評

*初回、画材の販売があります。(教材一式 5,000円程度・
 パステル代1,000円)
 *毎回メモを取ってください。

205 篆 刻

会 場 市民学習センター3階 アトリエ
 時 間 14:00～16:00
 講 師 大 村 雪 陵 (日本篆刻家協会常務理事)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・18 (木)	篆刻の概要と篆刻三法 (選文・布字・彫刻)
2	6・1 (木)	篆刻と字源(実技指導)
3	6・15 (木)	名前彫り(実技指導)
4	7・6 (木)	篆刻作品の見方(実技指導)
5	7・20 (木)	石印材と印牋(実技指導)
6	9・7 (木)	参考書・辞典の紹介(実技指導)
7	9・21 (木)	落款と冠冒印(実技指導)
8	10・5 (木)	大学祭出品作品準備
9	10・19 (木)	年賀状(実技指導)
10	11・16 (木)	篆刻について(総まとめ)

*初回、画材の販売があります。(教材・用具一式 8,000円程度)

*エプロン、古いタオル、筆記用具を持参してください。



206~209 陶 芸

会 場 富山市民大学陶芸実習施設
 時 間 13:30~15:30
 講 師 片 岸 智 子 (陶芸作家)

コースNo. コース名	206 前期A	207 前期B	208 後期A	209 後期B	
回 数	月・日 (曜)	月・日 (曜)	月・日 (曜)	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・12 (金)	5・23 (火)	8・25 (金)	9・5 (火)	「やきものの話」 白土(500g)でタタラ作り(花入れ・マグカップなど)
2	5・19 (金)	5・30 (火)	9・1 (金)	9・12 (火)	赤土(500g)と白土(100g)で練り込み(皿・小鉢など) 白土(400g)で紐作り(湯呑み・小鉢など)
3	5・26 (金)	6・6 (火)	9・8 (金)	9・19 (火)	赤土(500g)でタタラ作り(自由制作) 白化粧がけ(刷毛目・櫛目など)
4	6・2 (金)	6・13 (火)	9・15 (金)	9・26 (火)	粘土成形終了 1~3回の総仕上げ 粘土ねりの練習 ろくろ体験
5	6・9 (金)	6・20 (火)	9・22 (金)	10・3 (火)	粘土ねりの練習 ろくろ体験 下絵のデザイン 釉薬の計画
6	6・16 (金)	6・27 (火)	9・29 (金)	10・10 (火)	素焼きの窯詰め ろくろ体験(希望者のみ) 下絵のデザイン 釉薬の計画
7	6・23 (金)	7・4 (火)	10・6 (金)	10・17 (火)	素焼きの窯出し 下絵付け 透明釉薬がけ
8	6・30 (金)	7・11 (火)	10・13 (金)	10・24 (火)	釉薬がけ (透明・白萩・黄瀬戸・織部・飴釉・黒天目・鉄赤 ほか)
9	7・7 (金)	7・18 (火)	10・20 (金)	10・31 (火)	釉薬がけ 本焼き窯詰め
10	7・14 (金)	7・25 (火)	10・27 (金)	11・7 (火)	窯出し 作品講評会 作品渡し

*初回に、教材費を集合します。(700円程度)

*エプロン、古いタオル2枚、新聞紙2日分、筆記用具、内履きを持参してください。

*作業が遅れるので、なるべく休まないようにしてください。

*粘土を持ち帰っての作品制作は、ご遠慮ください。

*後期の募集は市広報7月20日号(予定)に掲載します。

(3) プラネット

301 富山の郷土玩具“土人形”を作ろう

会 場 大沢野会館 (旧大沢野生涯学習センター隣)
 時 間 13:00～15:00
 講 師 古川圭子 (土人形制作講師)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・30 (火)	
2	6・6 (火)	
3	6・20 (火)	
4	7・4 (火)	
5	7・18 (火)	
6	9・5 (火)	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">粘土</div> 型込めで招き猫、雛人形、天神様などを作る
7	9・19 (火)	
8	10・3 (火)	
9	10・17 (火)	
10	11・7 (火)	

*材料費 4,000 円(粘土代、絵具代、窯焼き代)
 *初回に作成したい土人形の希望をとります。
 *1年の受講で10個以上の土人形が制作できます。

302 日本画(大沢野)

会 場 大沢野会館 (旧大沢野生涯学習センター隣)
 時 間 10:00～12:00
 講 師 網谷真佐美 (市日本画作家連盟副委員長)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・6 (土)	日本画について(画材等の説明) 鉛筆写生
2	5・20 (土)	鉛筆写生
3	6・10 (土)	
4	6・17 (土)	着彩写生
5	7・1 (土)	作品制作の準備、着彩写生
6	7・15 (土)	
7	7・29 (土)	小下絵制作(ねらい、構図、色彩計画)
8	8・5 (土)	下図制作
9	8・19 (土)	膠・絵具・胡粉等の扱い方
10	9・2 (土)	骨描き
11	9・16 (土)	作品制作
12	9・30 (土)	
13	10・7 (土)	
14	10・21 (土)	
15	11・4 (土)	作品完成・作品講評

*初回、画材の販売があります。(初心者 20,000円程度)
 *初回、お持ちの方は、スケッチブック、鉛筆、ねりゴムを持参してください。

303 うまい水のルーツを探る

会 場 大庄公民館 会議室ほか
 時 間 9：30～11：30

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・11 (木)	常願寺川が作る大地のかたち	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保俊哉
2	5・25 (木)	【現地学習】 暴れ川・常願寺川 ー治水と砂防の歴史ー (会場:立山カルデラ砂防博物館)	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸員 是松慧美
3	6・8 (木)	【現地学習】 水との闘いと用水の歴史 (会場:横江頭首工管理事務所ほか)	常願寺川沿岸用水 土地改良区連合 横江頭首工管理事務所 職員
4	6・22 (木)	水の源 ー立山の雪と氷河を探るー	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇
5	7・13 (木)	【現地学習】 上滝地区の治水の歴史 (会場:常西公園小水力発電所ほか)	上滝地区観光 ボランティアガイドの会 前田 明
6	9・7 (木)	【現地学習】 富山市民の水がめ:有峰ダム ー湖底に沈んだ有峰村ー (会場:大山歴史民俗資料館)	大山歴史民俗研究会 山森 潔
7	9・21 (木)	世界かんがい施設遺産 「常西合口用水」の歴史	常西用水土地改良区 事務局長 谷田 憲一
8	10・5 (木)	【現地学習】 まちなかの名水 ーいたち川の水辺と清水ー (会場:石倉町延命地藏尊ほか)	富山市観光ボランティア グループ 紙ふうせん 会長 石尾三夫
9	10・19 (木)	常願寺川の電源開発	北陸電力(株) 常願寺水力センター 所長 橋爪英樹
10	11・2 (木)	くらしと水 ー災害に備えてー	富山国際大学 名誉教授 尾畑納子

*【現地学習】は現地集合・現地解散となります。

304 現代切り絵

会 場 八尾コミュニティセンター
 時 間 13：30～15：30
 講 師 平野由美子 (日展会友・現代工芸美術家協会本会員)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	4・20 (木)	切り絵とは(I) ー教材の説明ー
2	5・11 (木)	切り絵とは(II) ー色々な切り方ー
3	5・18 (木)	お手本を切ってみよう
4	6・1 (木)	ミニ色紙の制作(I) ーオリジナルー
5	6・15 (木)	ミニ色紙の制作(II) ーオリジナルー
6	7・6 (木)	オリジナル作品 静物(I)
7	7・20 (木)	オリジナル作品 静物(II)
8	8・3 (木)	オリジナル作品 静物(III)
9	8・17 (木)	生花のスケッチにチャレンジ(I)
10	9・7 (木)	生花オリジナル(II)
11	9・21 (木)	生花オリジナル(III)
12	10・5 (木)	作品 一部糊付け
13	10・19 (木)	カラー切り絵実演
14	11・2 (木)	作品仕上げ ー糊付けー
15	11・16 (木)	年賀状を作ってみよう

*毎回、筆記用具、メモ帳を各自持参してください。

*初回、画材の購入があります。(教材一式 6,000円程度)

*コース序盤で基礎を身につけます。

*進行状況で学習内容が変わる場合があります。

305 手作り銀粘土アクセサリー(前期)

会 場 婦中ふれあい館 小研修室2
 時 間 13:30～16:00
 講 師 後藤千百合 (アクセサリー工房「ONE PLACE」主宰)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	5・9 (火)	ペンダントトップを作しましょう(1) (デザインを考え造形します)
2	5・23 (火)	ペンダントトップを作しましょう(2) (焼成し、いぶし仕上げにします)
3	6・13 (火)	指輪を作しましょう(1) (デザインを考え造形します)
4	6・27 (火)	指輪を作しましょう(2) (形成し、焼成します)
5	7・11 (火)	指輪を作しましょう(3) (鏡面に磨きます)

*材料費(6,300円程度)が必要です。

306 手作り銀粘土アクセサリー(後期)

会 場 婦中ふれあい館 小研修室2
 時 間 13:30～16:00
 講 師 後藤千百合 (アクセサリー工房「ONE PLACE」主宰)

回数	月・日 (曜)	学 習 題
1	9・12 (火)	ペンダントトップを作しましょう(1) (デザインを考え造形します)
2	9・26 (火)	ペンダントトップを作しましょう(2) (焼成し、いぶし仕上げにします)
3	10・10 (火)	指輪を作しましょう(1) (デザインを考え造形します)
4	10・24 (火)	指輪を作しましょう(2) (形成し、焼成します)
5	11・7 (火)	指輪を作しましょう(3) (鏡面に磨きます)

*材料費(6,300円程度)が必要です。

*後期の募集は市広報8月5日号(予定)に掲載します。

307 飛越往来

会 場 猪谷関所館
 時 間 10:00～12:00

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	4・26 (水)	八尾の曳山と飛越往来	上新町曳山保存会 会長 栃山仁一
2	5・10 (水)	越中飛騨境界の地質・ 地形	飛騨学の会 編集人 岩田修
3	5・17 (水)	飛騨の中世城館の 発掘調査成果	飛騨市教育委員会 学芸員 石川 露
4	5・24 (水)	高山の商人と富山藩 その3	飛騨歴史民俗学会 会長 福井重治
5	5・31 (水)	円空仏をめぐる諸問題	こくふ歴まちネット 代表 安国寺住職 堀 祥岳
6	6・7 (水)	富山県の石仏たち	日本石仏協会 理事 尾田武雄
7	6・14 (水)	もう一つの飛騨街道の 十村たち	富山近代史研究会 理事 宮村光治
8	9・13 (水)	神通川流域の両生類・ 爬虫類	富山県生物学会 会員 福田保
9	9・20 (水)	神通峡の鳥たち	市ファミリーパーク 主査 高橋輝男
10	10・4 (水)	橋本家文書を読み解く ー江戸から明治への変換期に おける関所の姿ー	猪谷関所館 元館長 加藤敏一

